

NO. 9

フィリピン共和国

フィリピン国病院整備計画

フィージビリティ調査報告書

VOLUME 2

国際協力事業団

開 調

80 42

社会開発部調査課

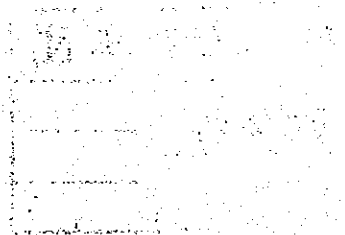
JICA LIBRARY



1046168[9]

國際協力事業団	
受入 月日 '84. 4. 21	118
	98
登録No. 03745	SDF

II章 REGION I, IIの現況



Ⅱ 章 REGION I、Ⅱ の現況

目 次

Ⅱ - 1	気候・風土・人口	1
Ⅱ - 2	保健医療システムの現況	37
Ⅱ - 3	地域医療の現況	51
1)	地域医療需要の現況	51
2)	地域医療供給の現況	86
3)	医療需要の予測	136
4)	地域医療インフラ施設の現況	199
(1)	病院建築	199
(2)	電気設備	200
(3)	空調衛生設備	212
(4)	交 通	214
5)	医療器材の現況	219
6)	管理運営費の現況	223

II-1 気候・風土・人口

1) Region I および Region II の概要

フィリピンには7,107の大小さまざまな島がある。この中で最も大きい島はルソン島とミンダナオ島で、その広さはそれぞれ105,000Km²、95,000Km²で全国土の2/3を占める。このルソン島の北部北緯16度から19度に位置するRegion IおよびRegion IIは、面積Region I、II合計で57,971 Km² (Region I 21,568 Km², Region II 36,403 Km²)あり、全国土の約19.3%を占める。

また、人口はRegion I、II合計5,202×10³人 (Region I 3,269×10³人、Region II 1,933×10³人)で全国比は12.4%を占める地域である。

この2州は、西側は南シナ海に面し、海岸線に沿って平野が拡がり、東側はシエラマドレ山脈がフィリピン海に沿って連なり、中央にRegion I、IIを分割するように中央山脈が南北に延びている。この中央山岳地帯と、東海岸山岳地帯の間すなわちRegion IIの中央部はカガヤン川が北に流れ、地域一帯は広大な平野を形成している。ただ、この2州の西海岸の平野部と中央平野部は中央山脈にはばまれ現在の交通は容易とはいえない。この外にルソン本島と161 Km離れてBalintang海峡を挟み10島からなるBatanes県がある。この最北端の群島から台湾までは約220 Km程である。

Region IはAbra, Benguet, Ilocos Norte, Ilocos Sur, La Union, Mt. ProvinceとPangasinanの7県(Province)とBaguio, Dagupan, Loaog, San Carlosの4都市で構成されている。

また、Region IIはBatanes, Cagayan, Ifugao, Isabela, Kalinga - Apayao, Nueva VizcayaとQuirinoの7県から成立している。

2) 主産業

主な産業は両州とも農業で、米およびタバコが主要産物である。この外西海岸は沖合漁業、Pangasinan近くの魚加工などの産業がある。東海岸の山岳部では林業、木材業などがある。また最近では山岳部の植林、平野部の灌漑、沿岸部の養殖漁業等一次産業の増産に向けて合理化が意欲的に進められている。

3) 気候

フィリピンは高温多湿、雨の多い熱帯性の気候である。アジア大陸からの季節風と貿易風の影響により年間の気候は大きく雨季と乾季に分かれるが、地域により雨季、乾季に多少の差異があり、その特徴から

- 雨季、乾季がはっきり区別される地域…… Luzon島、Mindoro島、Palawan島、Panay島、Negros島、の西側。雨季は6月から11月。乾季は12月から5月。
- 乾季のない地域…… Luzon島の南部からMindoro島までの太平洋側に面した地域。雨量の多い月は11月頃より始まり2月まで。Mindoro島では4月位まで続く。それ以外の月でも200mm位の雨量はある。
- 乾季の短い地域…… Luzon島のCagayanと中央山岳地域および南部 Quezon、Masbate、Romblon、Panayの北東部、東Negros、Cebu島、Palawan、Mindoro島北部の地域。乾季は1月から4月位まで。他は雨季。以上のように区分される。この区分によるとRegion Iは雨季、乾季がはっきり区別される地域に入るし、Region IIの中央山岳部とCagayan平野部は乾季の短い地域、東部の山岳地帯とBatanes地方は乾季のない地域に入る。

(1) 気 温

年間平均気温は27℃であるが、気温の最も低い1月の平均は25℃、気温の最も高い5月の平均は28℃とほとんど差はない。

(2) 湿 度

湿度は一般に高く、最も低い3月でさえも月平均71%ある。また、最も高い8、9月には月平均85%にも達する。特に3月から5月にかけては高い気温と相俟って不快適な気候となる。

(3) 雨 量

雨季、乾季が地域により異なっているように、雨量も、年間900mmから4,000mmまで地域差がある。最も雨量の多い地方はBaguio City、Samarの東部、Surigaoの東部であり、逆に最も少ない地方は、Cotabatoの南部である。

(4) Region I の気象条件

別表の気象データが示すように、DagupanとViganは、ほとんど同じ気象条件である。4、5月が最も気温が高く、1月が最低気温を示している。湿度も8、9月が高く、雨量も7、8月をピークにピラミット型の変化をしている。

Laoagは5月が最高、1月が最低という気象条件のパターンは前記2地域と変わらないが、最高気温と最低気温の温度差が15℃から20℃もある点に特異性がある。したがって、湿度も12月～2月にかけて50%を下回っている。雨量は6月～9月にかけて月平均400mmを記録している。

Baguioは平均気温は18℃～20℃と暑いフィリピンにあっては最も涼し

い気候の地である。しかし、7月から9月にかけて降る雨の量は他の地域にはみられない量である。特に7、8月は月平均900~1,000mmにも達し、雨による災害もしばしば発生している。

(5) Region II の気象条件

Region II 地域では、Tuguegarao、Aparri、Bascoの3ヶ所のデータであるが、TuguegaraoとAparriは距離的に近く、気象傾向もほとんど同様である。ただ、Tuguegaraoは内陸部に入っているため、最高気温と最低気温の温度差若干大きく、雨量は少なくなっている。10月、11月に最大雨量を記録しているのがRegion Iと異なる。

Batanes 地方の気温は5月から9月にかけて高く、12月~1月が低く、傾向としてはAparriと似ているが、雨量は、一番少ない4月でさえ平均100mmを記録し、年間雨量も3,000mm以上を示している。

Nueva Vizcaya や Ifugao 地方のデータはないが、Tuguegaraoより気温は若干低く、雨量は多いようである。

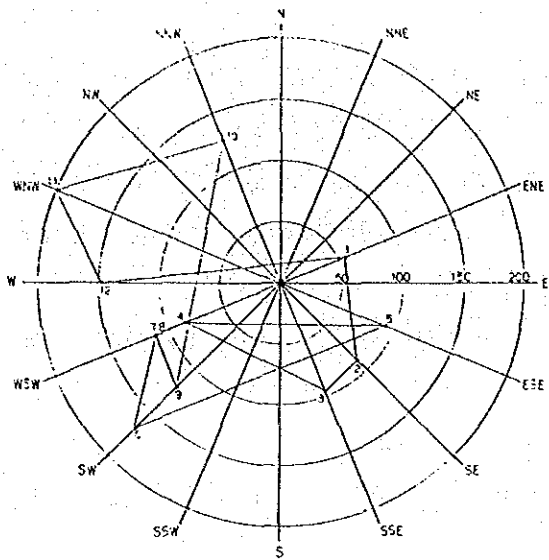
(6) 最高風速と風向

入手した上記7地域とManila地方の気象データから各地方の最高風速と風向は下記の通りである。

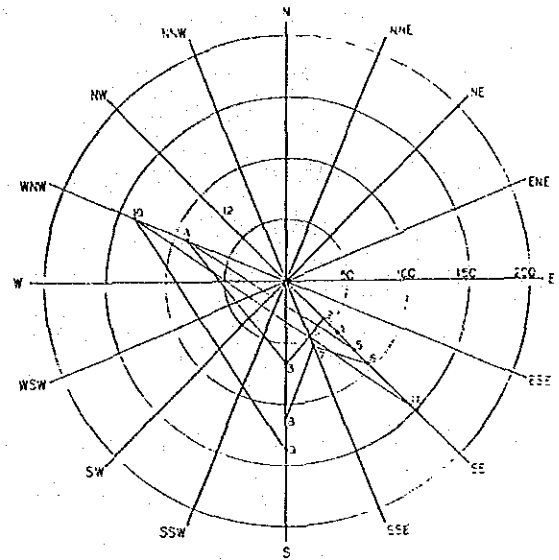
	最高風速 (Kph)	風 向	月
Dagupan	104	WSW/NE	10月/11月
Baguio	145	WNW	11月
Vigan	159	SSW	9月
Laoag	145	N	7月, 8月, 12月
Tuguegarao	178	WNW	10月
Aparri	209	NNE	10月
Basco	222	NE	7月
Manila	200	WNW	11月

プロジェクト対象地域ではBascoの222Kphは秒速に換算すると約62mになる。この地方では風に対し建物の壁を厚くしたり、窓を横木で固定するなど建築上の工夫がみられる。Basco以外では、Aparriの209Kph、Tuguegaraoの178Kphが目立つ位である。

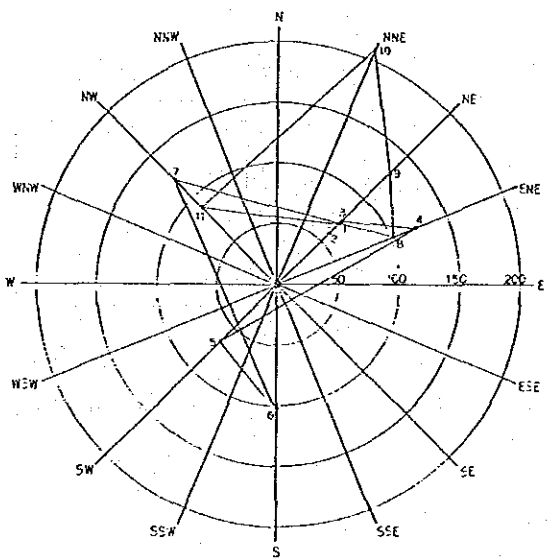
Manila



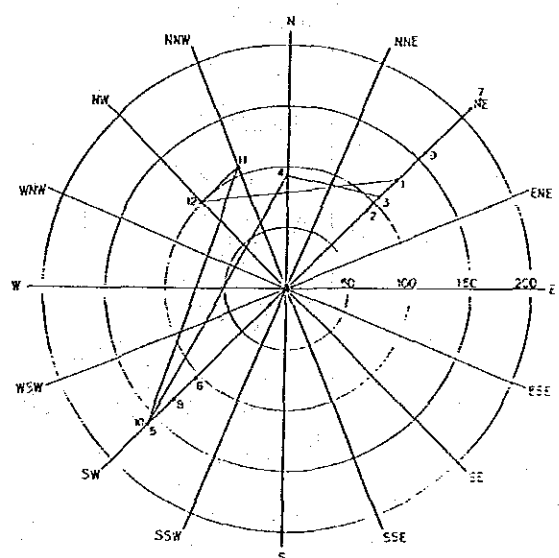
Baguio



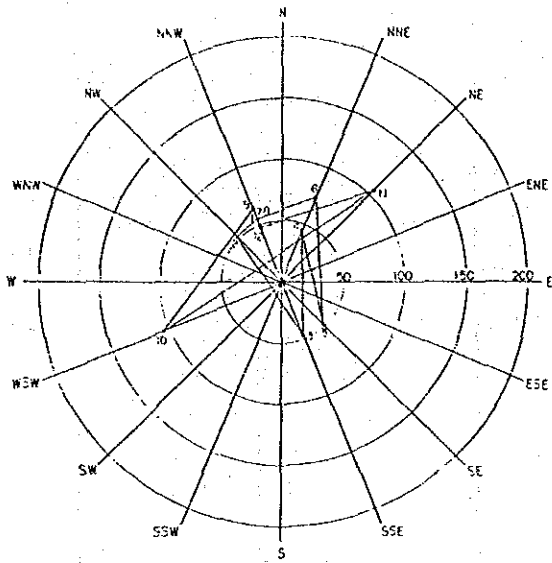
Aparri



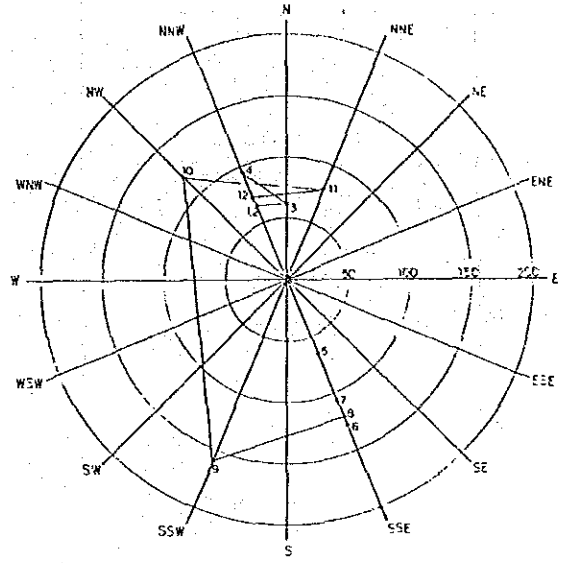
Basco



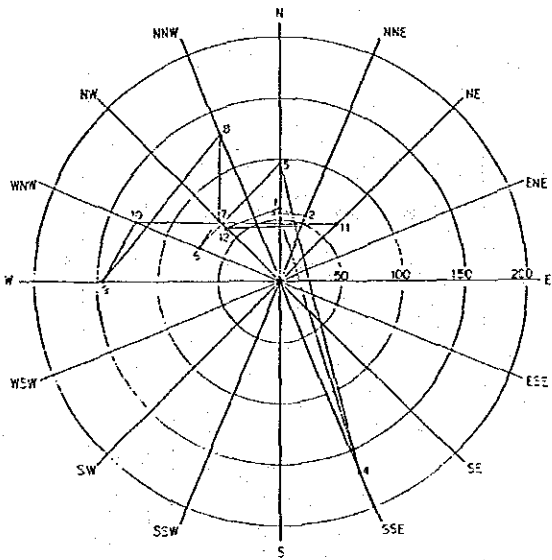
Dagupan



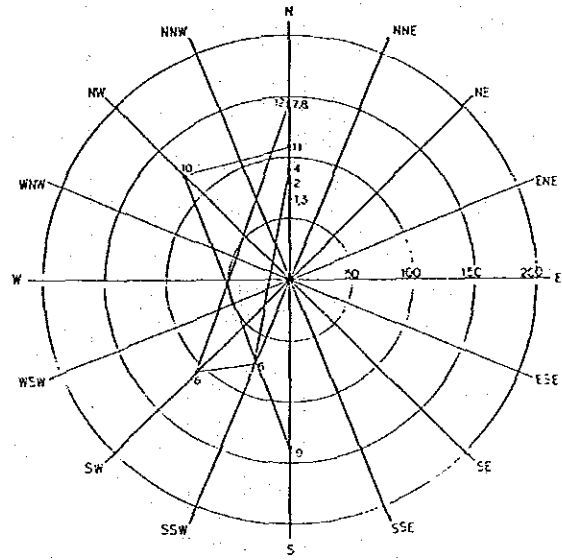
Vigan



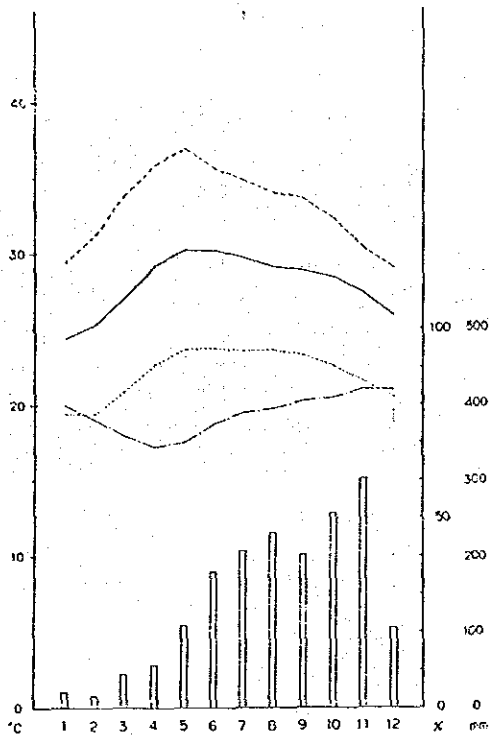
Tuguegarao



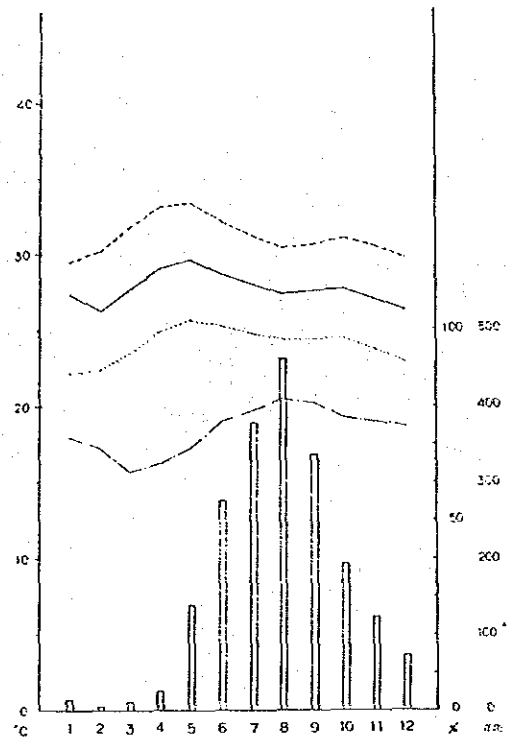
Laoag



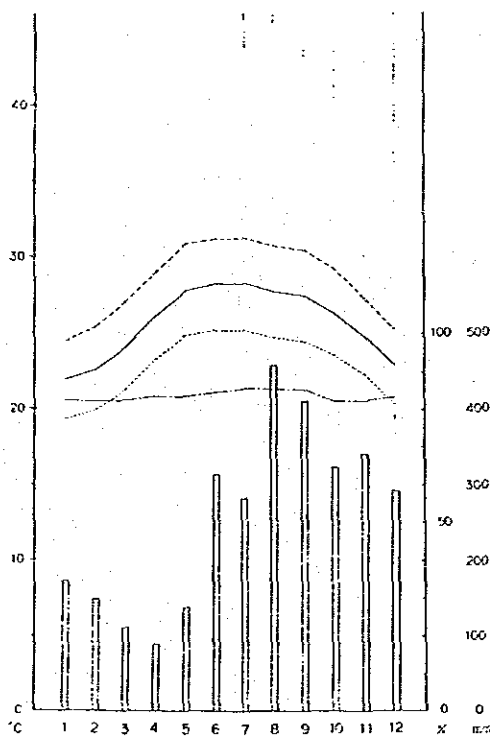
Tuguegarao



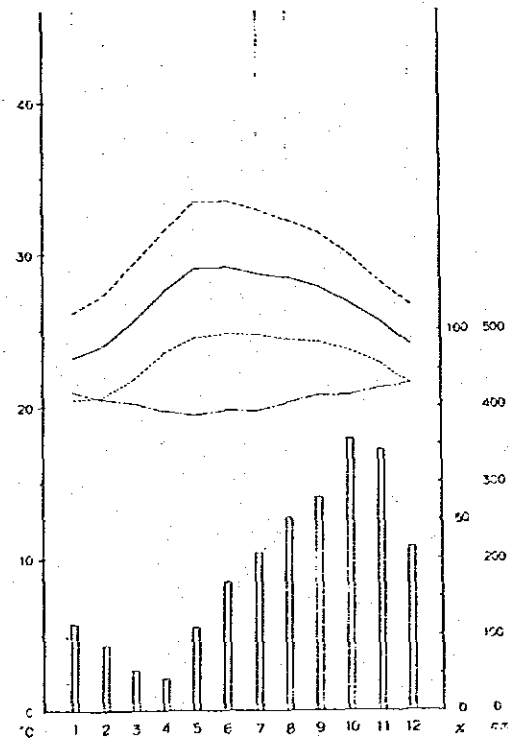
Manila



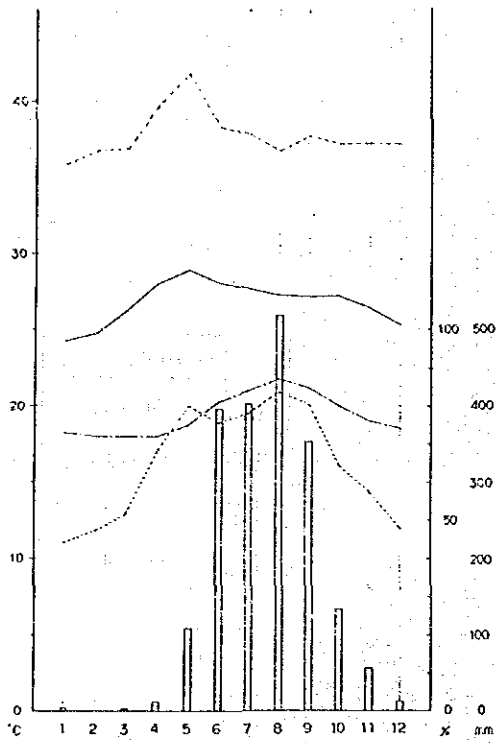
Banso



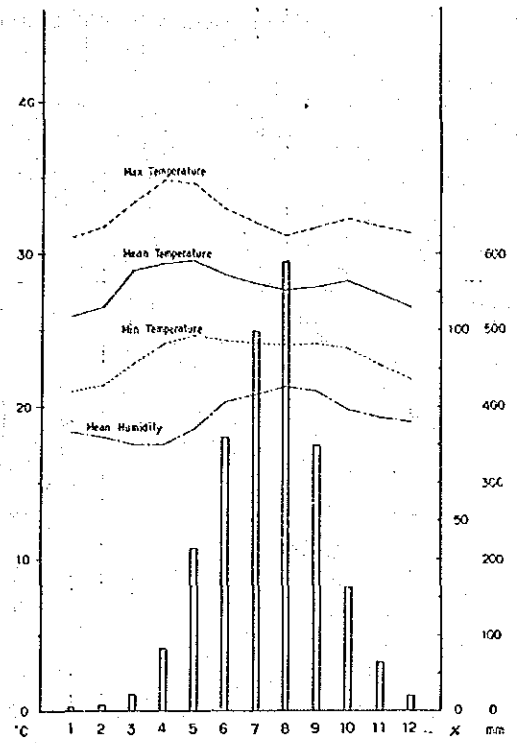
Aparri



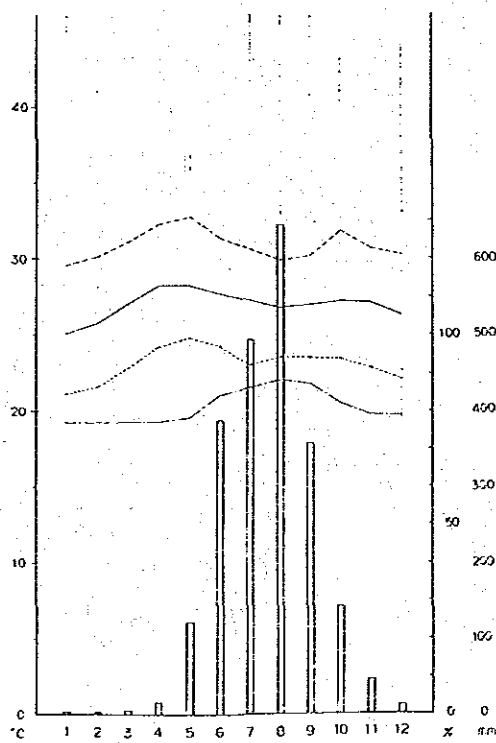
Laoag



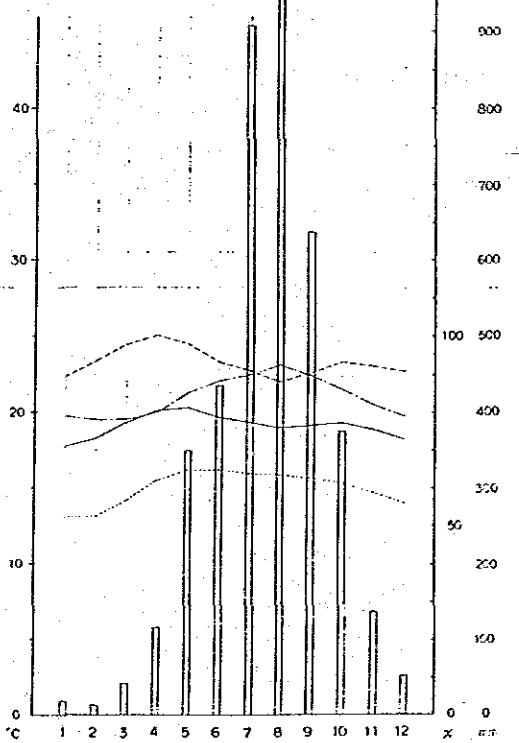
Dagupan



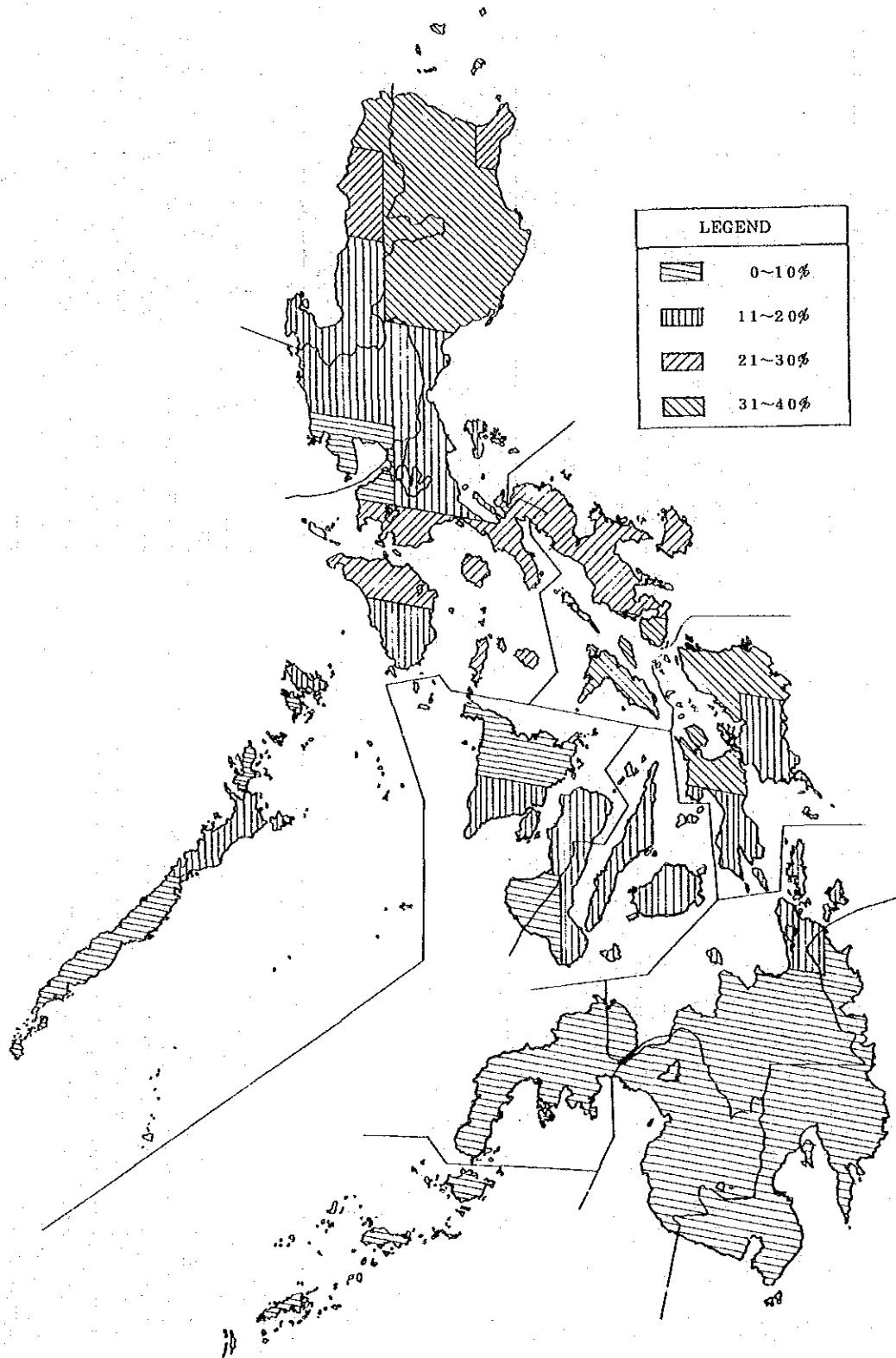
Vigan



Baguio

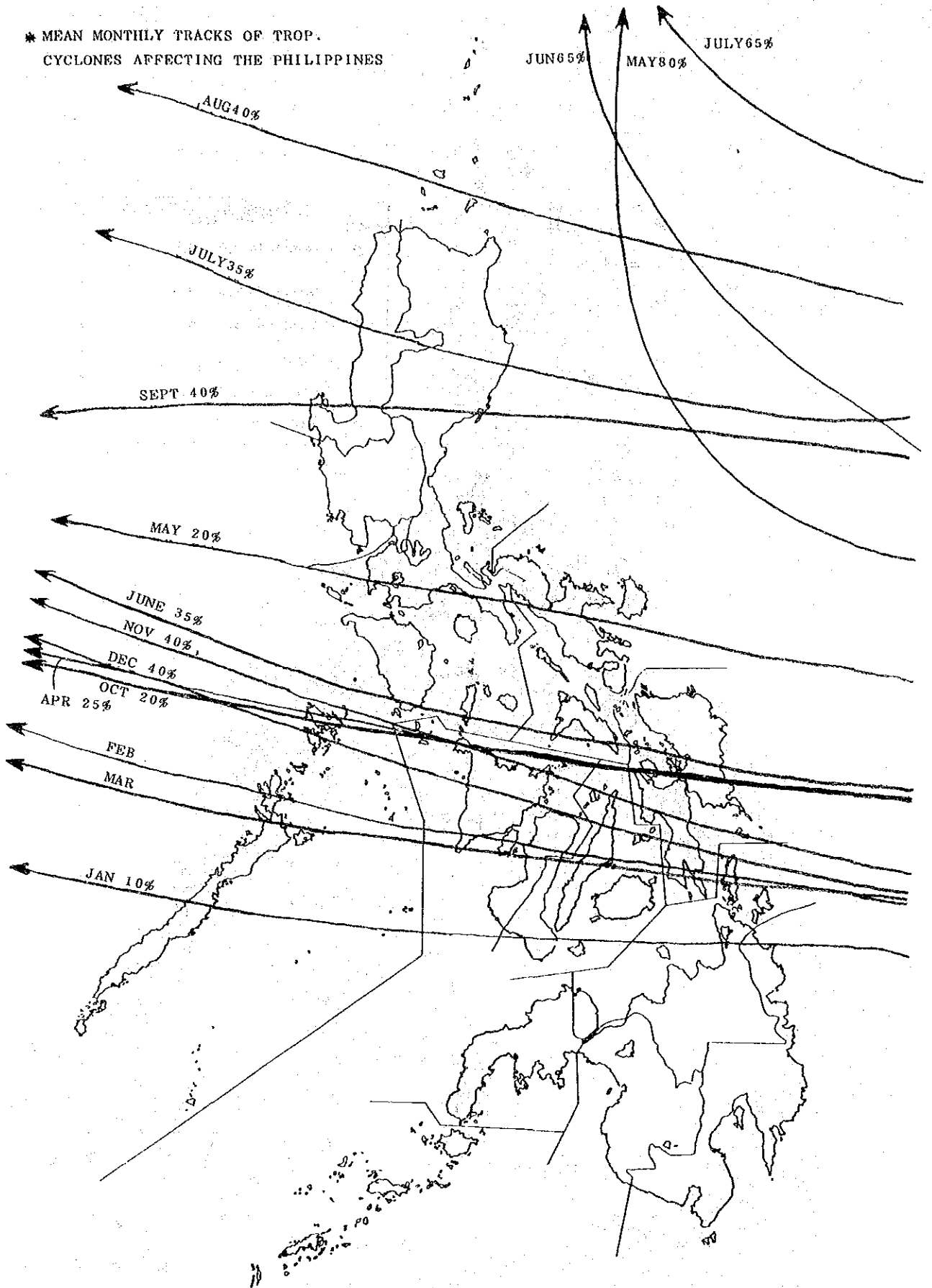


MEAN PERCENTAGE FREQUENCY
OF TROPICAL CYCLONE PASSAGE

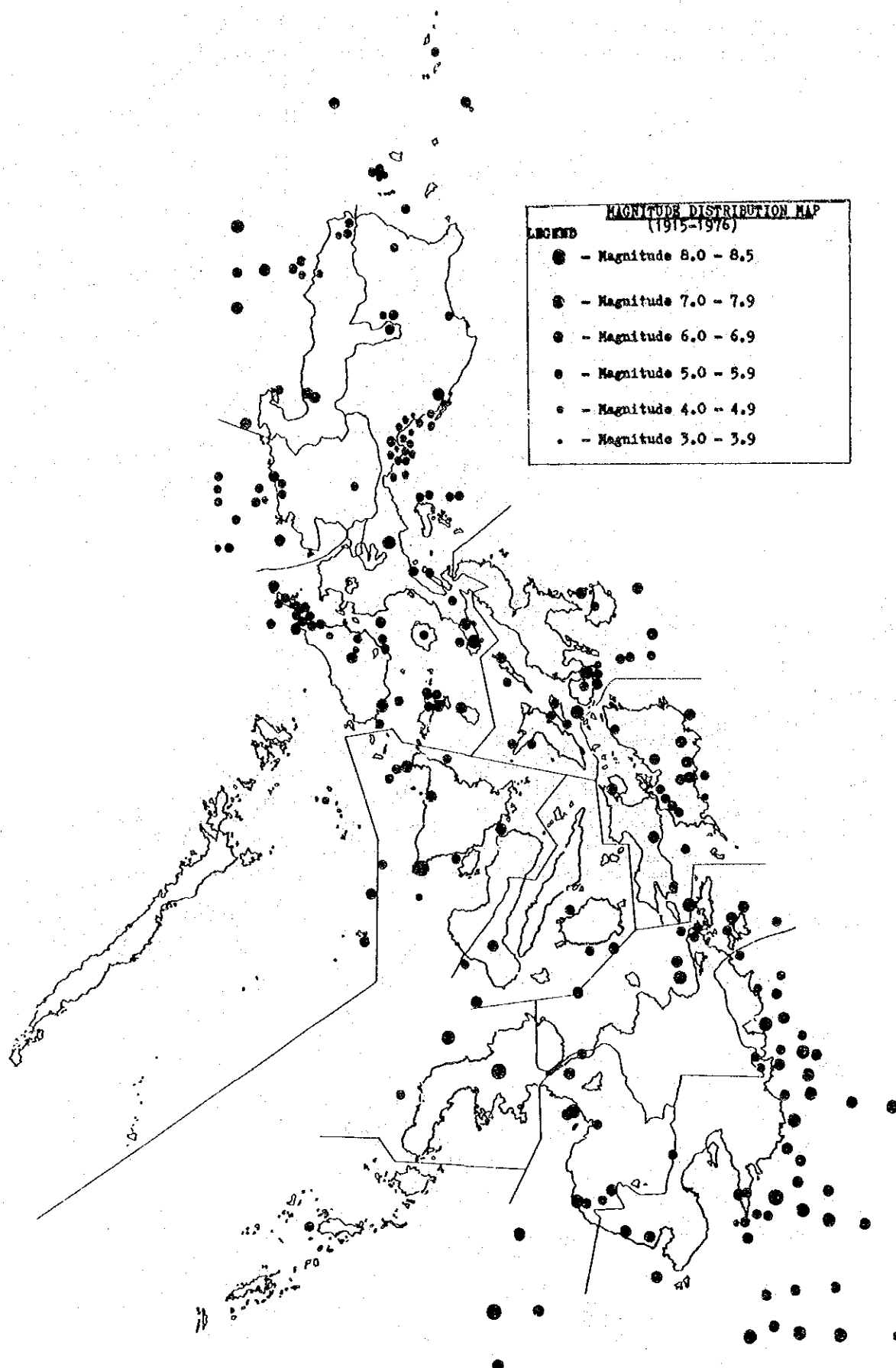


~WEATHER BUREAU CLIMATOLOGICAL DIVISION~

* MEAN MONTHLY TRACKS OF TROP.
CYCLONES AFFECTING THE PHILIPPINES



~WEATHER BUREAU CLIMATOLOGICAL DIVISION~



~NATIONAL GEOPHYSICAL AND ASTRONOMICAL OFFICE~

4) 人口

人口、人口密度及び人口構成

フィリピンの人口は、1975年5月1日現在42,071,000人であり、年々3%程度の人口増加率を示している。

Total Population, 1877-1974

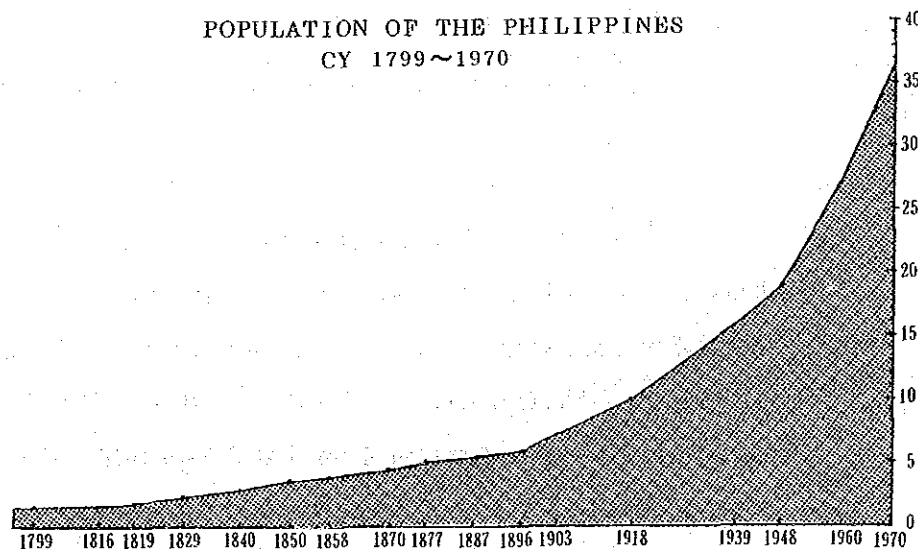
Year	Census population ^a	Estimated midyear population ^b	Annual intercensal growth rate
1877	5,567,685		
1887	5,984,727		
1896	6,261,339		
1903	7,635,426		2.9
1918	10,314,310		1.9
1936	16,000,303		2.2
1948	19,234,182		1.9
1960	27,087,685	27,372,420	3.1
1961		28,174,753	
1962		29,001,656	
1963		29,858,498	
1964		30,749,682	
1965		31,673,693	
1966		32,633,087	
1967		33,629,509	
1968		34,664,683	
1969		35,740,434	
1970	36,684,468	36,851,954	3.0
1971		37,919,096	
1972		39,040,439	
1973		40,218,819	
1974		41,432,623	

a. Data to 1896 excludes non-Christian population.

b. The 1960-69 estimates are interpolated from census populations. The 1970-72 estimates are from L Baal, C. Que, and P. Yunkin, "New Population Projections by Age and Sex for the Philippines and Each Province, 1970-2000." Bureau of the Census and Statistics (BCS), Population Research Division (Manila, n.d.).

Sources: BCS, Yearbook of Philippine Statistics, 1966, and Monthly Bulletin of Statistics (March 1972).

POPULATION OF THE PHILIPPINES
CY 1799~1970



SOURCES NATIONAL CENSUS AND STATISTICS OFFICE

又、今回の対象地域である REGION I 及び REGION II の最近の人口変化実績をみると

Population by Region and Province

Region and Province	Population (in thousands)					
	1975 (May 1)	1970 (May 6)	1960 (Feb 15)	1948 (Oct 1)	1939 (Jan 1)	1918 (Dec 31)
Philippines	42071	36684	27088	19234	16000	10314
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1. Ilocos Region	3269(777)	2991(815)	2427(896)	1943(1010)	1729(1081)	1477(1432)
Abra	147(035)	146(040)	115(042)	87 (045)	88 (055)	73 (071)
Benguet	302(072)	264(072)	184(068)	110 (057)	122 (076)	a (-)
Ilocos Norte	372(088)	343(085)	287(106)	251 (130)	238 (149)	219 (212)
Ilocos Sur	420(100)	385(105)	338(125)	276 (144)	272 (170)	247 (239)
La Union	415(099)	374(102)	293(108)	237 (123)	208 (130)	178 (173)
Mt. Province	94(022)	93(025)	86(032)	62 (032)	59 (037)	194 (188)
Pangasinan	1520(361)	1386(378)	1,124(415)	920 (478)	742 (464)	566 (549)
2. Cagayan Valley	1933(459)	1691(461)	1202(444)	775 (403)	714 (446)	348 (337)
Batanes	12(003)	11(003)	10(004)	11 (006)	9 (006)	8 (008)
Cagayan	644(153)	581(158)	445(164)	311 (162)	292 (183)	191 (185)
Ifugao	105(025)	93(025)	77(028)	50 (026)	68 (043)	a (-)
Isabela	730(174)	648(177)	442(163)	264 (137)	220 (138)	113 (110)
Kalinga-Apayao	163(039)	136(037)	90(633)	56 (029)	47 (029)	a (-)
Nueva Vizcaya	279(066)	222(061)	138(051)	83 (043)	78 (049)	36 (035)

*1 Included in the mother municipality

Includes Quirino

a Benguet, Ifugao, Kalinga-Apayao, included in Mt. Province

全国人口の中で占める率は REGION I では減少の一途をたどり REGION II はそれに反して流動的ではあるがわずかな増加傾向を示す。又同じ比率を各県別にみると減少の傾向の強いのは、ABRA, ILOCOS SUR, ILOCOS NORTE, LA UNION, Mt. PROVINCE, PANGASINAN, BATANES, CAGAYAN であり逆にその増加傾向を示す県は BENGUET KALINGA-APAYAO, NUEVA VIZCAYA でありその他は流動的である。

次に将来の人口動態変化予測は、NEDA の COMMISSION ON POPULATION 発行の「POPULATION DIMENSION OF PLANNING」を採用する。

Population Projections and Implicit Growth Rates to the Year 2000

Year	Population projections (millions)			Implicit growth rates ^a (percent)		
	Medium projection	Medium-low projection	Low projection	Medium projection	Medium-low projection	Low projection
1970	36.9	36.9	36.9			
1975	42.5	42.4	42.2	2.9	2.8	2.7
1980	49.1	48.5	47.9	2.9	2.7	2.5
1985	56.7	55.3	53.8	2.9	2.6	2.3
1990	65.0	52.3	59.6	2.8	2.4	2.1
1995	73.9	69.4	64.9	2.6	2.2	1.8
2000	83.4	76.7	70.0	2.4	2.0	1.6

a. Growth rates are for the five-year period preceding the year at which they are listed; thus the medium projection of 2.9 shown for 1975 applies to the 1970-74 period.

Source: Medium and low projections are from NCSO, Age and Sex Population Projections for the Philippines by province: 1970-2000. Medium-low projection is the average of these two.

これによると、MEDIUM ASSUMPTION では、1990年には総人口65百万人、2000年には83.4百万人になる予定であり、人口増加率はそれぞれ2.8%、2.4%まで下がることとなる。

各県別人口増加率は以下の表の如くである (CY 1960-1970)

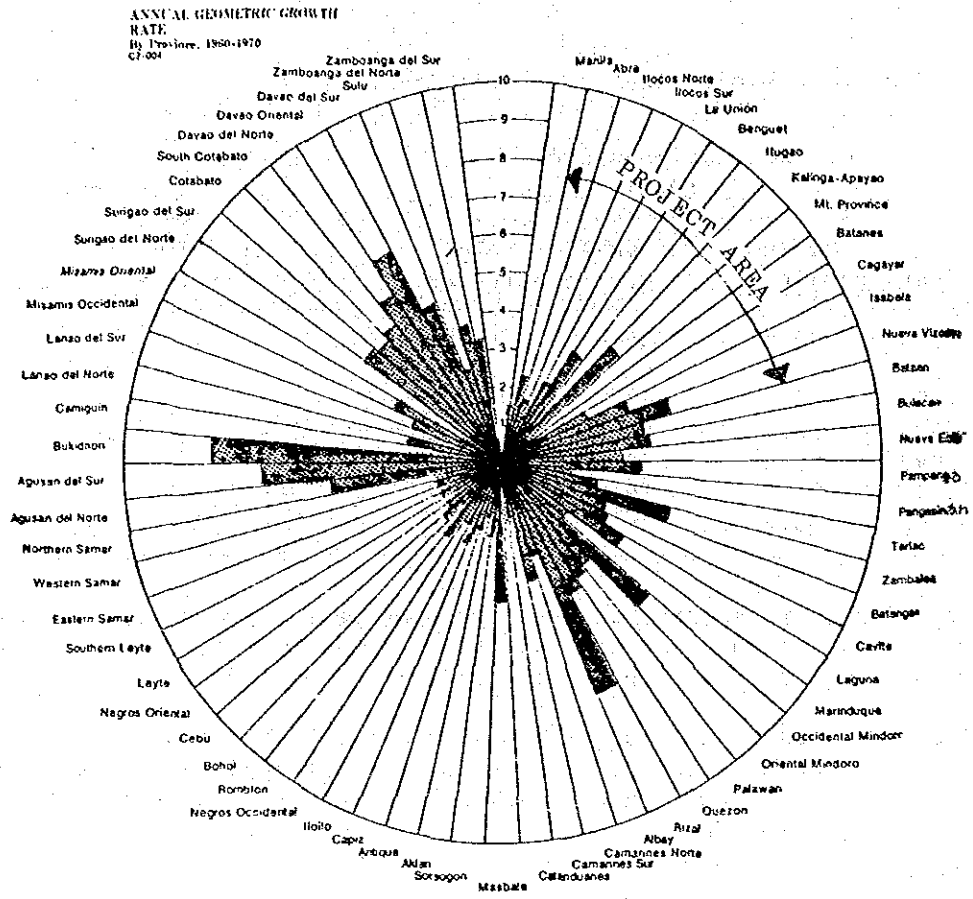


TABLE 1.2. SUMMARY OF THE POPULATION PROJECTIONS BY REGION: 1970-2000

Region	1970 (May 6)	July 1					
		1975	1980	1985	1990	1995	2000
Medium Assumption							
PHILIPPINES	36,684,486	42,517,330	49,136,853	56,742,143	65,041,174	73,866,546	83,438,785
I - Ilocos	2,990,561	3,310,321	3,630,906	4,038,632	4,445,353	4,911,571	5,386,691
II - Cagayan Valley	1,691,459	1,932,741	2,207,753	2,533,758	2,892,158	3,258,355	3,660,359
III - Central Luzon	3,713,952	4,401,956	5,183,853	6,042,101	6,979,650	7,922,107	8,939,581
IV - Southern Tagalog	8,325,247	10,035,233	12,082,499	14,156,039	16,493,772	18,681,653	21,080,613
V - Bicol	2,966,881	3,247,051	3,533,932	3,939,831	4,359,345	4,872,521	5,413,107
VI - Western Visayas	3,618,326	3,896,233	4,153,327	4,571,537	4,976,290	5,499,126	6,028,520
VII - Central Luzon	3,032,719	3,370,777	3,702,399	4,146,305	4,588,861	5,137,502	5,703,606
VIII - Eastern Visayas	2,381,409	2,523,763	2,685,512	2,920,149	3,157,849	3,445,577	3,746,413
IX - Western Mindanao	1,869,014	2,233,048	2,637,169	3,119,994	3,647,487	4,240,536	4,891,108
X - Northern Mindanao	3,016,865	3,646,061	4,382,673	5,249,104	6,232,383	7,310,771	8,523,411
XI - Southern Mindanao	3,078,053	3,920,146	4,936,430	6,024,693	7,268,026	8,586,827	10,065,376

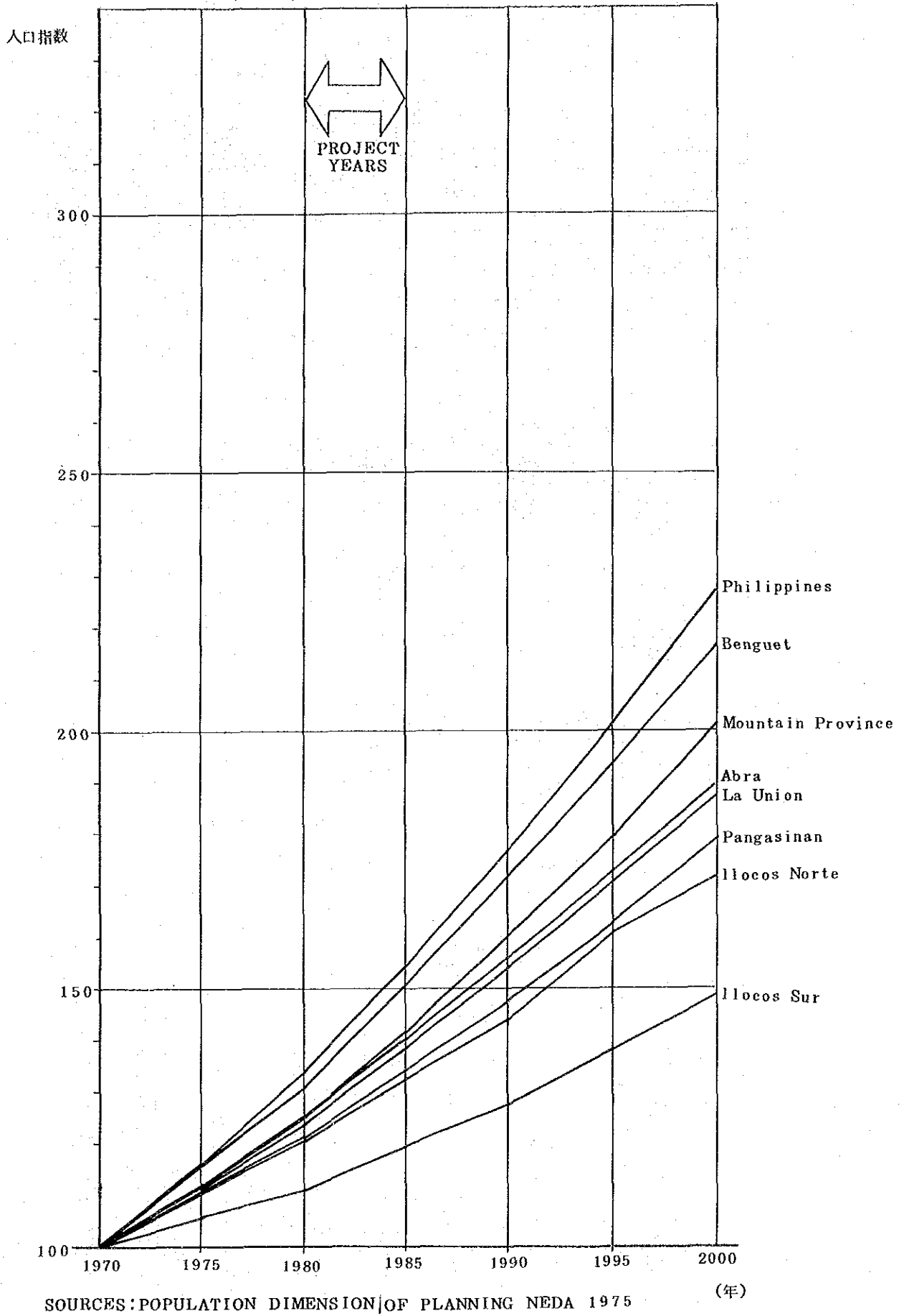
TABLE 2.01. POPULATION PROJECTIONS BY PROVINCE OF REGION I: 1970-2000

Province	1970 (May 6)	July 1					
		1975	1980	1985	1990	1995	2000
High Assumption							
Total	2,990,561	3,329,905	3,714,433	4,231,694	4,795,930	5,476,984	6,222,051
1. Abra	145,508	164,305	186,364	214,041	245,186	280,178	319,173
2. Benguet	263,550	305,910	355,755	418,719	490,925	570,817	661,339
3. Ilocos Norte	343,427	381,310	423,165	477,223	534,469	604,697	679,722
4. Ilocos Sur	385,139	410,555	438,503	483,143	529,179	592,313	659,314
5. La Union	373,682	420,330	474,133	544,186	621,838	711,181	809,682
6. Mountain Province	93,112	104,952	119,221	138,666	161,282	186,973	216,557
7. Pangasinan	1,386,143	1,542,244	1,717,302	1,955,716	2,213,051	2,530,825	2,876,214
Medium Assumption							
Total	2,990,561	3,310,321	3,630,906	4,038,632	4,445,353	4,911,571	5,386,691
1. Abra	145,508	163,414	182,365	204,588	227,621	251,689	276,804
2. Benguet	263,550	303,948	347,577	399,025	453,895	510,308	570,656
3. Ilocos Norte	343,427	379,349	414,666	456,397	496,774	544,159	590,711
4. Ilocos Sur	385,139	408,552	428,765	461,615	491,558	532,486	572,345
5. La Union	373,682	417,957	463,902	519,946	577,015	638,627	702,030
6. Mountain Province	93,112	104,309	116,604	132,338	149,393	167,361	187,096
7. Pangasinan	1,386,143	1,532,792	1,677,627	1,864,723	2,049,097	2,266,941	2,487,139
Low Assumption							
Total	2,990,561	2,290,925	3,547,371	3,846,087	4,095,101	4,350,569	4,571,698
1. Abra	145,508	162,541	178,366	195,179	210,070	223,394	235,415
2. Benguet	263,550	301,994	339,400	379,362	416,897	450,162	482,031
3. Ilocos Norte	343,427	377,427	404,971	435,659	459,110	484,115	503,809
4. Ilocos Sur	385,139	406,274	419,029	440,163	453,972	472,174	487,560
5. La Union	373,682	415,617	453,610	495,802	537,229	566,584	596,860
6. Mountain Province	93,112	103,667	113,985	126,036	137,516	147,877	158,120
7. Pangasinan	1,386,143	1,523,405	1,637,950	1,773,886	1,885,307	2,005,263	2,107,903

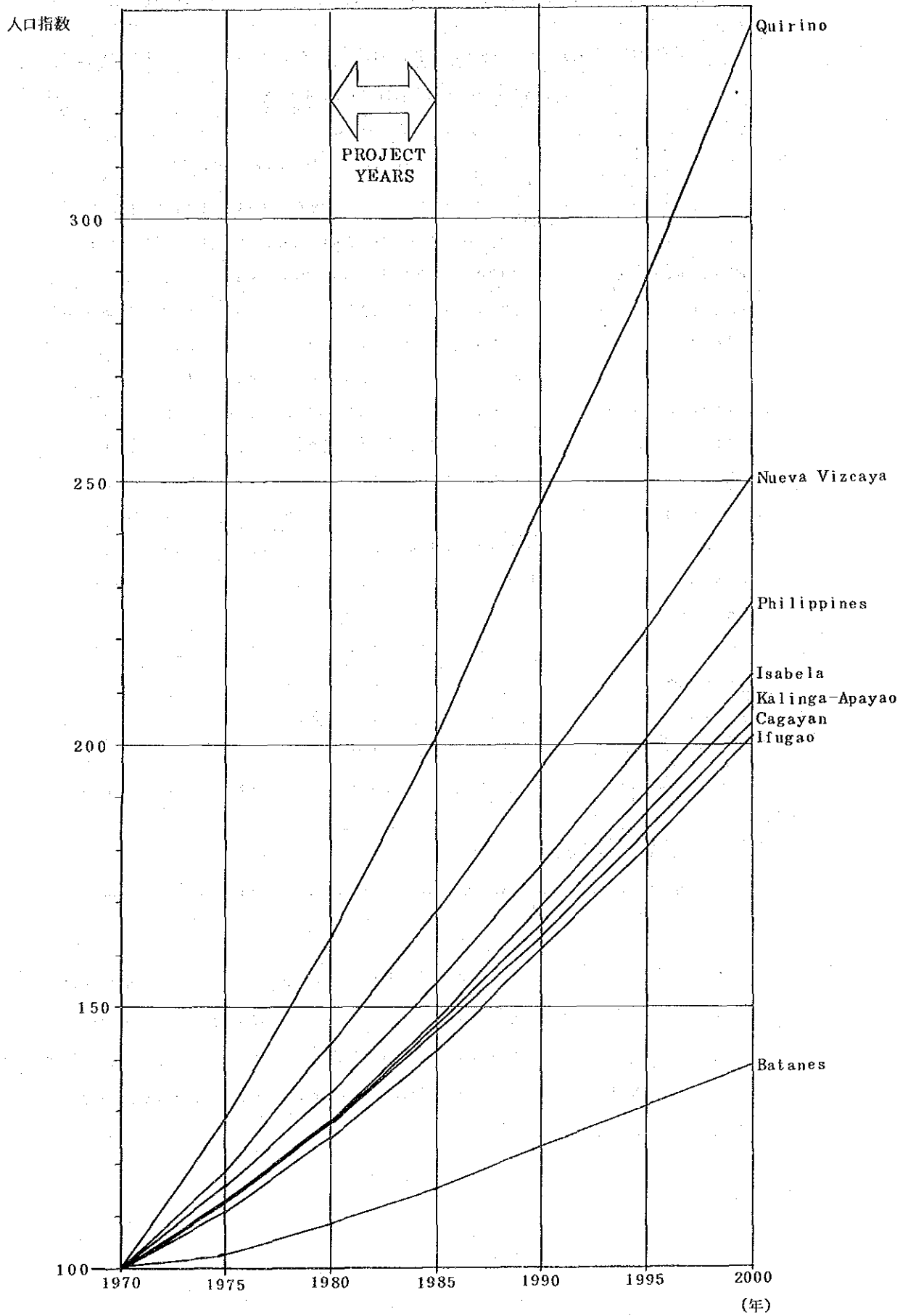
TABLE 2.02. POPULATION PROJECTIONS BY PROVINCE OF REGION II: 1970-2000

Province	1970 (May 6)	July 1					
		1975	1980	1985	1990	1995	2000
High Assumption							
Total	1,691,459	1,946,650	2,259,991	2,660,907	3,131,307	3,652,887	4,255,573
1. Batanes	11,398	11,819	12,697	13,863	15,216	16,747	18,500
2. Cagayan	581,237	664,179	762,276	837,779	1,030,874	1,193,973	1,378,330
3. Ifugao	92,487	103,644	118,297	137,252	160,597	186,201	217,007
4. Isabela	648,123	739,346	852,468	1,005,030	1,185,106	1,385,450	1,618,816
5. Kalunga-Apayao	136,249	155,514	178,309	208,660	243,609	283,208	328,469
6. Nueva Vizcaya	172,198	207,362	252,459	303,079	363,950	426,877	500,607
7. Quirino	49,767	64,786	83,485	105,294	131,953	160,431	193,844
Medium Assumption							
Total	1,691,459	1,932,741	2,207,753	2,533,758	2,892,158	3,258,355	3,660,359
1. Batanes	11,398	11,739	12,391	13,188	14,035	14,914	15,875
2. Cagayan	581,237	659,683	744,138	845,235	951,976	1,065,004	1,185,150
3. Ifugao	92,487	102,964	115,763	131,012	148,851	166,655	187,372
4. Isabela	648,123	733,462	832,541	955,884	1,092,999	1,233,517	1,389,858
5. Kalunga-Apayao	136,249	154,515	174,375	199,061	225,579	253,493	283,734
6. Nueva Vizcaya	172,198	206,013	246,899	288,970	336,959	381,423	431,245
7. Quirino	49,767	64,365	81,646	100,408	122,059	143,349	167,025
Low Assumption							
Total	1,691,459	1,918,739	2,155,514	2,406,762	2,653,366	2,867,396	3,081,384
1. Batanes	11,398	11,660	12,087	12,513	12,855	13,098	13,325
2. Cagayan	581,237	655,170	726,080	802,744	873,211	937,310	997,600
3. Ifugao	92,487	102,286	113,228	124,809	137,116	147,243	158,381
4. Isabela	648,123	727,498	812,615	906,725	1,001,039	1,082,961	1,167,188
5. Kalunga-Apayao	136,249	153,518	170,440	189,492	207,564	223,977	239,991
6. Nueva Vizcaya	172,198	204,664	241,337	274,944	309,403	336,385	363,965
7. Quirino	49,767	63,943	79,807	95,535	112,178	126,422	140,934

人口動態予測 Region I



人口動態予測 Region II



次に人口密度をみると

POPULATION DENSITY BY REGION AND PROVINCE
CENSUS YEARS 1918-75 *1

	Land Area (Sq. Km.)	(Density (persons/sq. km))					
		1975	1970	1960	1948	1939	1918
		(May 1)	(May 6)	(Feb 15)	(Oct 1)	(Jan 1)	(Dec 31)
Philippines	300,000.0	140.2	122.3	90.3	64.1	53.3	34.4
Region I	215,684	151.6	138.7	112.5	90.1	80.2	68.5
Abra	3,975.5	37.0	36.6	29.0	21.8	22.1	18.4
Benguet	2,655.4	113.7	99.3	69.2	41.4	45.9	a
Ilocos Norte	3,399.3	109.4	101.0	84.5	74.0	70.0	64.4
Ilocos Sur	2,579.6	162.8	149.3	131.1	107.1	105.4	95.8
La Union	1,493.1	277.9	250.3	196.5	159.0	139.3	119.2
Mt. Province	2,097.3	44.8	44.4	40.9	29.6	28.1	92.5
Pangasinan	5,368.2	283.1	258.2	209.4	171.5	138.2	105.4
Region II	36,403.1	53.1	46.4	33.0	21.3	19.6	9.6
Batanes	2,093	57.4	54.5	49.3	51.1	43.0	38.2
Cagayan	9,002.7	71.5	64.6	49.5	34.6	32.4	21.2
Ifugao	2,517.8	41.7	36.9	30.5	19.8	27.0	a
Isabela	10,664.6	68.4	60.8	41.5	24.8	20.6	10.6
Kalinga-Apayao	7,047.6	23.1	19.3	12.7	8.0	6.7	a
Nueva Vizcaya	6,961.1	40.1	31.9	19.8	11.9	11.2	5.2

*1 includes Qurino

a Beuguet, Ifugao, Kalinga-Apayao included in Mt. Province

人口密度 200 人を越えるのは、La Union Pangasinan で特に Pangasinan は 300 人近くの人口密度をもちフィリピン全国平均の 2 倍である。Region I は全体的に 100 人を越える県も多く、逆に Region II は、フィリピン全国平均の 1/2 以下と極端に少くなっており、前記の人口動態と考え合せて Region II の人口が将来著しく伸びるものと思われる。

URBAN AND RURAL POPULATION BY SEX, PANGASINAN: 1970 AND 1975

Sex and Residence	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	1,520,085	100.0	1,386,143	100.0
Urban	278,166	18.3	272,492	19.7
Rural	1,241,919	81.7	1,113,651	80.3
Male	760,763	100.0	685,342	100.0
Urban	135,446	17.8	131,377	19.2
Rural	625,317	82.2	553,651	80.8
Female	759,322	100.0	700,801	100.0
Urban	142,720	18.8	141,115	20.1
Rural	616,602	81.2	559,686	79.9

POPULATION BY URBAN-RURAL RESIDENCE AND SEX, MOUNTAIN PROVINCE:
1970 AND 1975

Residence and Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	94,096	100.0	93,112	100.0
Urban	3,460	3.7	2,930	3.1
Rural	90,636	96.3	90,182	96.9
Male	47,211	100.0	45,898	100.0
Urban	1,676	3.6	1,414	3.1
Rural	45,535	96.4	44,484	96.9
Female	46,885	100.0	47,214	100.0
Urban	1,784	3.8	1,516	3.2
Rural	45,101	96.2	45,698	96.8

URBAN-RURAL POPULATION BY SEX, BENGUET: 1970 AND 1975

Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	302,065	100.0	263,550	100.0
Urban	97,449	32.3	84,538	32.1
Rural	204,616	67.7	179,012	67.9
Male	153,667	100.0	130,673	100.0
Urban	47,279	30.8	40,668	31.1
Rural	106,388	69.2	90,005	68.9
Female	148,398	100.0	132,877	100.0
Urban	50,170	33.8	43,870	33.0
Rural	98,228	66.2	89,007	67.0

URBAN AND RURAL POPULATION BY SEX, ABRA: 1970 AND 1975

Sex and Residence	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	147,010	100.0	145,508	100.0
Urban	25,363	17.3	26,280	18.1
Rural	121,647	82.7	119,228	81.9
Male	74,493	100.0	71,890	100.0
Urban	12,530	16.8	12,584	17.5
Rural	61,963	83.2	59,306	82.5
Female	72,517	100.0	73,618	100.0
Urban	12,833	17.7	13,696	18.6
Rural	59,684	82.3	59,922	81.4

URBAN-RURAL POPULATION BY SEX, ILOCOS SUR: 1970 and 1975

Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both sexes	419,776	100.0	385,139	100.0
Urban	69,918	16.7	64,349	16.7
Rural	349,858	83.3	320,790	83.3
Male	208,262	100.0	186,874	100.0
Urban	33,681	16.2	30,003	16.1
Rural	174,581	83.8	156,871	83.9
Female	211,514	100.0	198,265	100.0
Urban	36,237	17.1	34,346	17.3
Rural	175,277	82.9	163,919	82.7

URBAN-RURAL POPULATION BY SEX, ILOCOS NORTE: 1970 AND 1975

Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	371,724	100.0	343,427	100.0
Urban	87,009	23.4	83,025	24.2
Rural	284,715	76.6	260,402	75.8
Male	185,548	100.0	167,210	100.0
Urban	41,889	22.6	38,496	23.0
Rural	143,659	77.4	128,714	77.0
Female	186,176	100.0	176,217	100.0
Urban	45,120	24.2	44,529	25.3
Rural	141,056	75.8	131,688	74.7

URBAN AND RURAL POPULATION, BY SEX, GAGAYAN: 1970 AND 1975

Residence and Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	644,075	100.0	581,237	100.0
Urban	72,280	11.2	85,360	14.7
Rural	571,795	88.8	495,877	85.3
Male	329,120	100.0	292,630	100.0
Urban	35,770	10.9	41,905	14.3
Rural	293,350	89.1	250,725	85.7
Female	314,955	100.0	288,607	100.0
Urban	36,510	11.6	43,455	15.1
Rural	278,445	88.4	245,152	84.9

URBAN-RURAL POPULATION BY SEX, NUEVA VIZCAYA: 1970 AND 1975

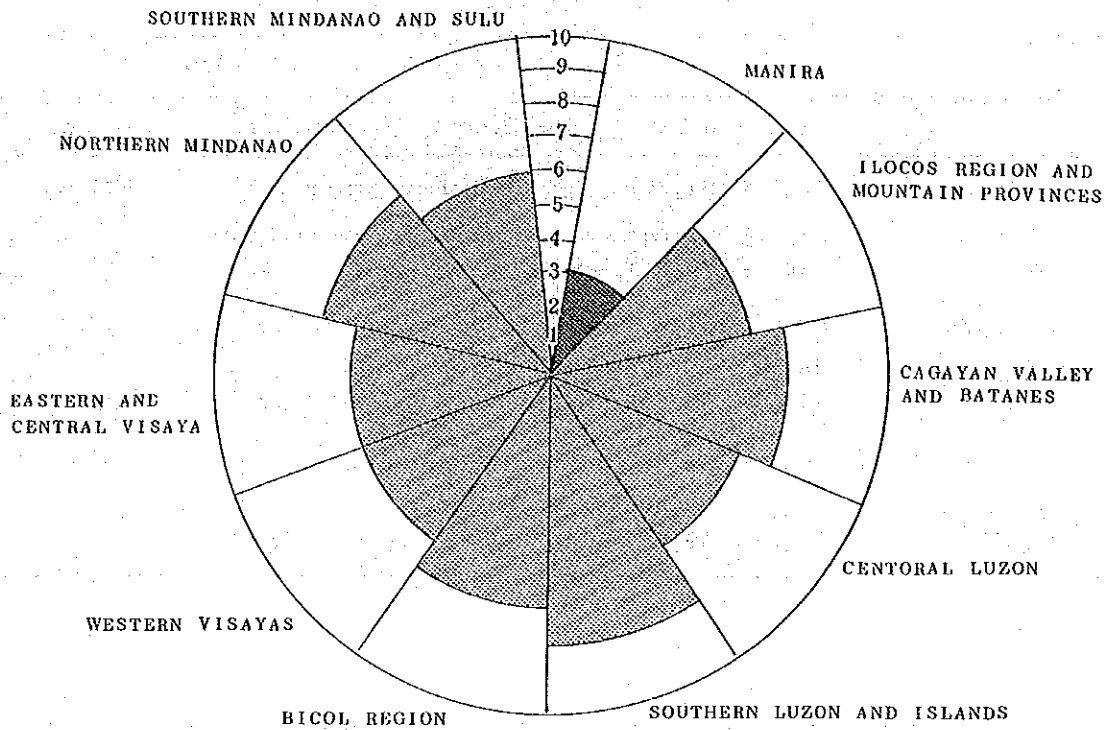
Residence and Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	213,151	100.0	172,198	100.0
Urban	34,627	16.2	43,267	25.1
Rural	178,524	83.8	128,931	74.9
Male	108,022	100.0	86,995	100.0
Urban	17,169	15.9	21,351	24.5
Rural	90,853	84.1	65,644	75.5
Female	105,129	100.0	85,203	100.0
Urban	17,458	16.6	21,916	25.7
Rural	87,671	83.4	63,287	74.3

URBAN-RURAL POPULATION, BY SEX, IFUGAO: 1970 AND 1975

Residence and Sex	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Both Sexes	104,707	100.0	92,487	100.0
Urban	5,898	5.6	6,961	7.5
Rural	98,809	94.4	85,526	92.5
Male	52,611	100.0	45,086	100.0
Urban	2,973	5.7	3,339	7.4
Rural	49,638	94.3	41,747	92.6
Female	52,096	100.0	47,401	100.0
Urban	2,925	5.6	3,622	7.6
Rural	49,171	94.4	43,779	92.4

AVERAGE FAMILY SIZE BY REGION

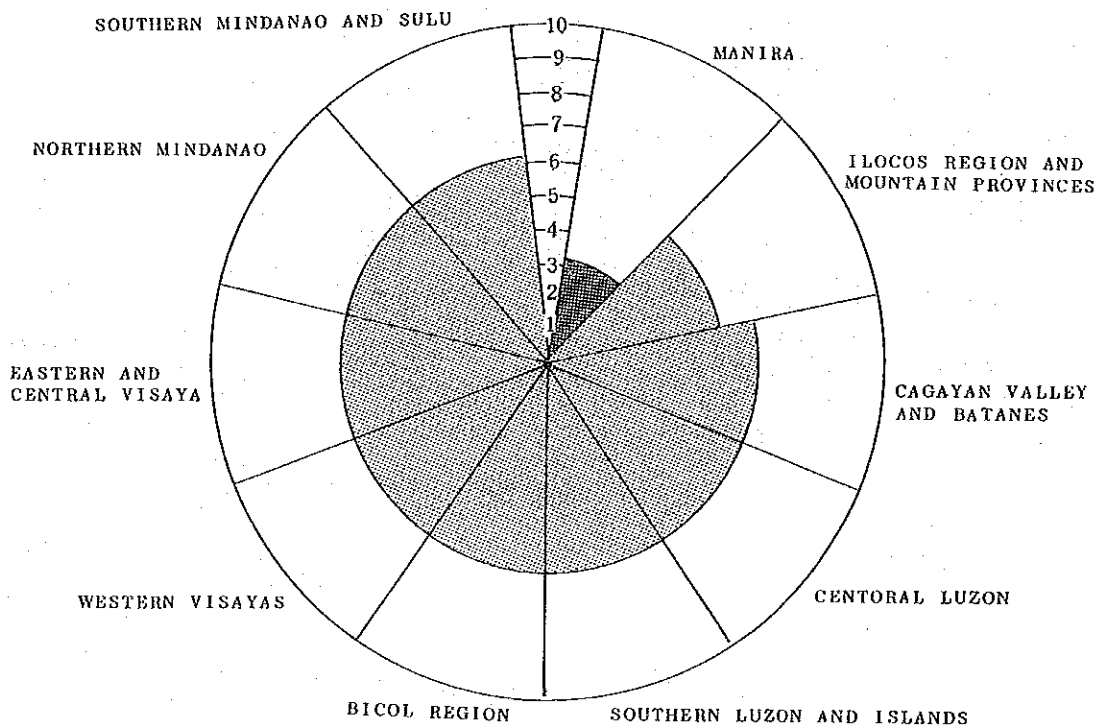
1971



SOURCE: NATIONAL CENSUS AND STATISTICS OFFICE

AVERAGE FAMILY SIZE BY REGION

1965



SOURCE: NATIONAL CENSUS AND STATISTICS OFFICE

次に人口構成、特に年齢別及び男女別人口構成をみると、

Enumerated Male and Female Population of the
Philippines by Five Year Age Group: 1960 and 1970

Age group	Male		Female	
	1969 (Feb. 15) (%)	1970 (May 6) (%)	1960 (Feb. 15) (%)	1970 (May 6) (%)
All ages	13,662,869(50.4)	18,250,351(49.7)	13,424,816(49.6)	18,434,135(50.3)
0 - 4	2,354,038	2,965,024	2,218,377	2,871,594
5 - 9	2,254,566	M 3,001,138	2,114,832	2,893,681
10 - 14	1,765,992	2,547,450	1,669,435	2,478,426
15 - 19	1,384,759	1,982,777	1,429,547	2,096,954
20 - 24	1,194,182	1,526,521	1,264,441	1,624,113
25 - 29	F 952,368	1,188,984	1,000,981	1,271,238
30 - 34	764,978	1,007,747	791,473	1,063,783
35 - 39	702,568	F 940,632	725,906	958,013
40 - 44	546,393	731,954	552,585	752,992
45 - 49	524,638	625,860	508,045	656,332
50 - 54	M 365,354	501,965	344,745	513,635
55 - 59	252,394	402,888	235,536	404,713
60 - 64	231,786	M 311,285	199,118	302,336
65 - 69	112,702	A 191,463	113,126	196,716
70 - 74	A 106,799	150,576	102,141	141,689
75 - 79	55,731	62,660	54,280	67,913
80 and over	93,621	F 101,085	100,248	120,762
Not Stated	-	10,342	-	19,315

⁷Robert T. Myers, "Errors and Bias in the Reporting of Ages in Census Data" Transactions of the Actuarial Society of America JAFFE. Handbook of Statistical Methods for Demographers, U.S. Government Printing Office. Washington D.C., 1960. pp. 115-125.

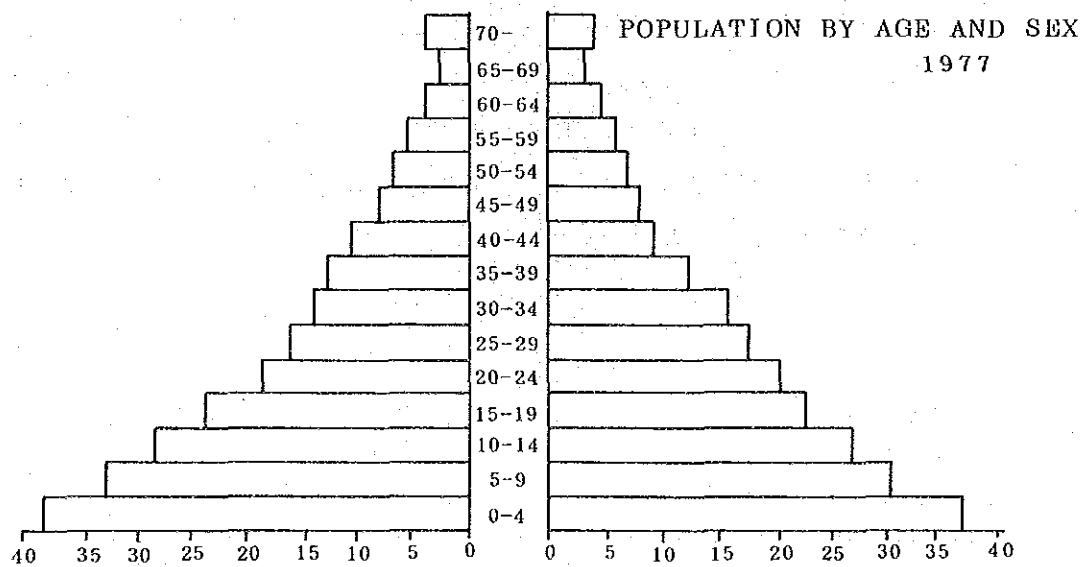
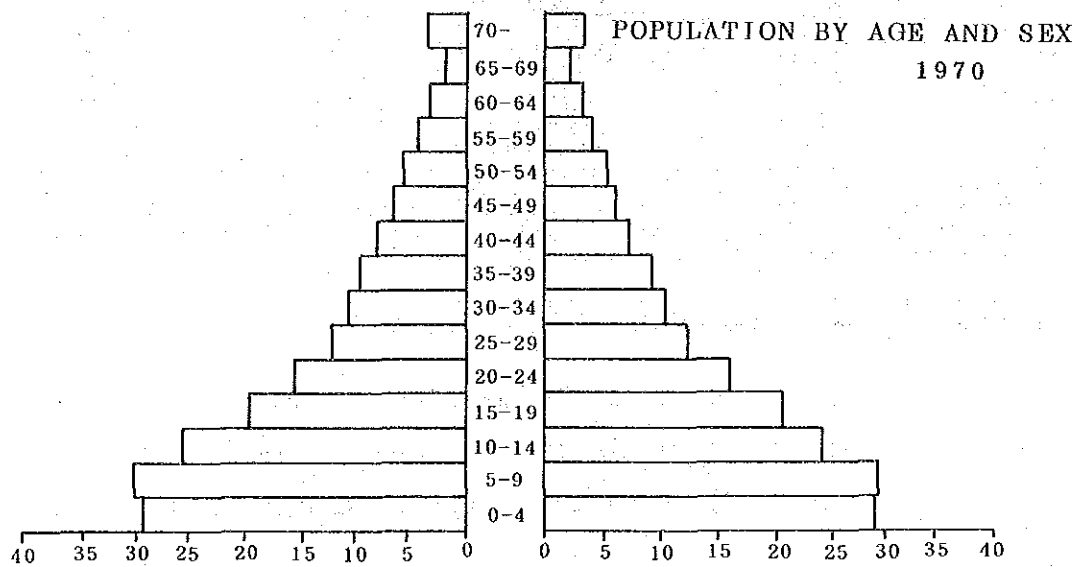
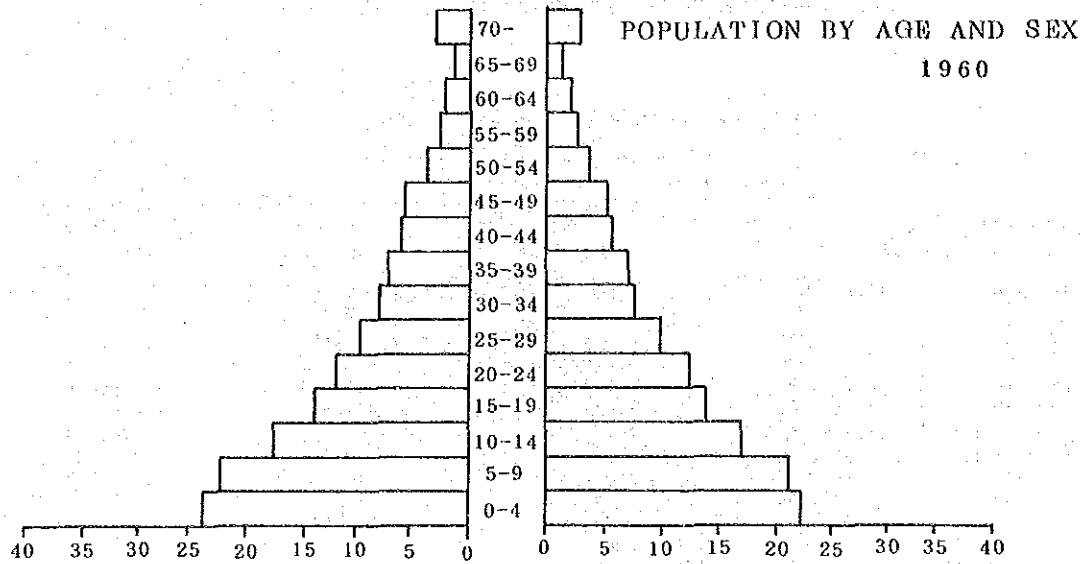
⁸Results of a test for various age groupings such as 1-5, 2-6, 3-7, 4-8, or 5-9 indicate that 0-4 and 5-9 year groupings seem to contain least amount of errors.

M : 男性優位 Male Dominant Ages

F : 女性優位 Female Dominant Ages

A : 男女交互に優位 Alternately Dominant Ages

1960年から1970年の間に男女比率が逆転しており、女性長寿化が本格的に進行し始めた事を示している。特に1960年では青・中年期の女性優位時代から1970年には、更に初老の時代にまで延長され、初老時代の男性優位時代がほとんどなくなって、75才以上の女性の数が着実に増え老年期の女性優位型パターンとなっている。



MALE

FEMALE

(population in 10 thousands)

人口を若年層・成年層（労働人口層）及び老年層に別けてみると、フィリピン全体の平均値は、1970年は若年層45.7%、成年層51.4%、老年層2.9%であり、各県別に1970と1975年の比較をしてみると、全体的に、若年層の減少傾向（1～2%）、成年層の増加傾向及び老年層の増加傾向を指摘できる。この傾向は人口構成が、スウェーデン型を目指す方向と一致しており、データの入手できる県のうち、この傾向に反するものを持つ県は、ILOCOS SUR の老年層、IFUGAOの老年層、BATANES の若年層と成年層とである。

全般的に見て、家族計画推進の効果が序々に現れてきていると言えるが、未だに高出産率である事には変わりなく、死亡率の低下促進と同時に出生率を今一層低く押えることが大切であろう。

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, PANGASINAN: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	1,520,085	100.0	1,386,143	100.0
0 - 14 years	659,792	43.4	617,867	44.6
15 - 64 years	797,331	52.5	713,101	54.4
65 years and over	62,962	4.1	55,175	4.0

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, MOUNTAIN PROVINCE: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	94,096	100.0	93,112	100.0
0 - 14 years	39,248	41.7	41,552	44.6
15 - 64 years	51,006	54.2	48,066	51.6
65 years and over	3,842	4.1	3,494	3.8

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, BENGUET: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	302,065	100.0	263,550	100.0
0 - 14 years	129,187	42.8	119,733	45.4
15 - 64 years	166,920	55.2	139,013	52.8
65 years and over	5,958	2.0	4,804	1.8

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, ABRA: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	147,010	100.0	145,508	100.0
0 - 14 years	59,841	40.7	61,717	42.4
15 - 64 years	79,770	54.3	76,625	52.7
65 years and over	7,399	5.0	7,166	4.9

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, ILOCOS SUR: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	419,776	100.0	385,139	100.0
0 - 14 years	166,212	39.6	160,558	41.7
15 - 64 years	227,360	54.2	200,043	51.9
65 years and over	26,204	6.2	24,538	6.4

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, ILOCOS NORTE: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	371,724	100.0	343,427	100.0
0 - 14 years	144,719	38.9	136,823	39.8
15 - 64 years	202,434	54.5	185,061	53.9
65 years and over	24,571	6.6	21,543	6.3

SOURCES: NEDA NATIONAL CENSUS AND STATISTICS OFFICE

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, CAGAYAN: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	644,075	100.0	581,237	100.0
0 - 14 years	283,488	44.0	264,723	45.6
15 - 64 years	339,260	52.7	297,812	51.2
65 years and over	21,327	3.3	18,702	3.2

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, IFUGAO: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	104,707	100.0	92,487	100.0
0 - 14 years	48,421	46.2	43,504	47.0
15 - 64 years	54,403	52.0	46,884	50.7
65 years and over	1,883	1.8	2,099	2.3

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, NUEVA VIZCAYA: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	213,151	100.0	172,198	100.0
0 - 14 years	94,749	44.4	80,569	46.8
15 - 64 years	112,084	52.6	86,927	50.5
65 years and over	6,318	3.0	4,702	2.7

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, BATANES: 1970 AND 1975

Age Composition	1975		1970	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	11,870	100.0	11,398	100.0
0 - 14 years	5,282	44.5	4,935	43.3
15 - 64 years	5,669	47.8	5,616	49.3
65 years and over	919	7.7	847	7.4

AGE COMPOSITION OF THE POPULATION, PHILIPPINES
1970

Age Composition	1970	
	Number	Percent
Total	3 668 448 6	100.0
0 - 14 years	1 675 731 3	45.7
15-64 years	1 886 465 2	51.4
65 years and over	1 062 527	2.9

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR GAINFUL OCCUPATION
PANGASINAN: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	391,557	100.0	408,244	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	212,360	54.2	217,617	53.3
Craftsmen, production process workers and related laborers	49,883	12.7	61,872	15.2
Sales workers	31,081	8.0	28,357	6.9
Service, sports, and related workers	25,886	6.6	26,066	6.4
Professional, technical and related workers	23,070	6.0	29,142	7.1
Workers in transport and communications	17,241	4.4	19,907	4.9
Clerical workers	10,614	2.7	7,648	1.9
Stevedores, related freight handlers and laborers n.e.c.	9,805	2.5	7,080	1.7
Administrative, executive, and managerial workers	2,464	0.6	3,084	0.8
Others	9,153	2.3	7,471	1.8

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR GAINFUL OCCUPATION, MOUNTAIN PROVINCE: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	42,744	100.0	43,023	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	37,433	87.6	36,069	83.8
Professional, technical and related workers	1,413	3.3	1,518	3.5
Craftsmen, production process workers and related laborers	1,035	2.4	1,611	3.8
Service, sports and related workers	745	1.7	744	1.7
Sales workers	542	1.3	761	1.8
Clerical workers	517	1.2	433	1.0
Workers in transport and communications	394	0.9	463	1.1
Miners, quarrymen and related workers	123	0.3	769	1.8
All others	542	1.3	655	1.5

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were obtained from a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY GAINFUL OCCUPATION,
BENGUET: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	96,181	100.0	96,105	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	44,761	46.6	51,694	53.8
Craftsmen, production process workers and related laborers	10,797	11.2	9,376	9.8
Service, sports, and related workers	8,832	9.2	6,867	7.1
Miners, quarrymen, and related workers	7,816	8.1	7,662	8.0
Professional, technical and related workers	6,639	6.9	5,630	5.8
Sales workers	6,135	6.4	5,050	5.2
Workers in transport and communications	4,275	4.4	3,606	3.8
Clerical workers	3,770	3.9	2,947	3.1
Stevedores, related freight handlers and laborers n.e.c.	1,148	1.2	915	1.0
Administrative, executive and managerial workers	1,016	1.1	1,064	1.1
Others n.e.c. and occupations unidentifiable	992	1.0	1,294	1.3

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR GAINFUL OCCUPATION, ABRA: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	43,358	100.0	50,493	100.0
Farmers, fishermen, hunters loggers and related workers	33,829	78.0	37,954	75.2
Professional, technical and related workers	2,453	5.6	2,644	5.2
Service, sports and related workers	1,605	3.7	2,712	5.4
Craftsmen, production process workers and related laborers	1,565	3.6	3,171	6.3
Sales workers	1,039	2.4	1,008	1.9
Clerical workers	982	2.3	947	1.9
Workers in transport and communication	944	2.2	782	1.5
All others	941	2.2	1,275	2.6

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

ILOCOS SUR: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	122,271	100.0	140,322	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	77,645	63.5	88,001	62.7
Craftsmen, production process workers and related laborers	16,043	13.1	20,898	14.9
Sales workers	6,540	5.3	6,292	4.5
Professional, technical and related workers	6,192	5.1	8,220	5.9
Service, sports and related workers	5,872	4.8	6,082	4.3
Workers in transport and communications	4,110	3.4	4,441	3.2
Clerical workers	2,672	2.2	2,150	1.5
Stevedores, related freight handlers and laborers n.e.c.	1,300	1.1	1,253	0.9
Administrative, executive and managerial workers	521	0.4	842	0.6
Others	1,376	1.1	2,143	1.5

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry, and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY GAINFUL OCCUPATION, ILOCOS NORTE: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	104,271	100.0	108,822	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	68,315	65.5	70,040	64.4
Craftsmen, production process workers and related laborers	9,684	9.3	12,135	11.1
Professional, technical and related workers	6,124	5.9	7,540	6.9
Service, sports, and related workers	5,668	5.4	5,835	5.4
Sales workers	5,037	4.8	4,964	4.6
Workers in transport and communications	3,737	3.6	3,278	3.0
Clerical workers	2,594	2.5	2,033	1.9
Stevedores and related freight handlers and laborers n.e.c.	1,115	1.1	541	0.5
Administrative, executive, and managerial workers	692	0.7	535	0.5
Others n.e.c., and occupations unidentifiable	1,305	1.2	1,921	1.7

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry, and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR OCCUPATION,
CAGAYAN: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	177,172	100.0	198,075	100.0
Farmers fishermen, hunters, loggers and related workers	127,754	72.1	142,759	72.0
Craftsmen, production process workers and related laborers	12,190	6.9	15,006	7.6
Professional, technical and related workers	7,724	4.4	9,433	4.8
Sales workers	7,553	4.3	6,597	3.3
Service, sports and related workers	7,361	4.1	9,167	4.6
Workers in transport and communications	5,594	3.2	6,265	3.2
Stevedores, related freight handlers and laborers n.e.c.	3,970	2.2	3,406	1.7
Clerical workers	2,758	1.6	2,708	1.4
Others	2,268	1.2	2,734	1.4

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation"^{1A} (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR GAINFUL OCCUPATION,
IFUGAO: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	47,185	100.0	43,616	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	42,560	90.1	38,586	88.5
Craftsmen production process workers and related laborers	1,448	3.1	2,398	5.5
Professional, technical and related workers	1,122	2.4	846	1.9
Service, sports and related workers	519	1.1	595	1.4
Sales workers	462	1.0	297	0.7
Clerical workers	393	0.8	272	0.6
Workers in transport and communications	232	0.5	184	0.4
All others	449	1.0	437	1.0

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY
MAJOR GAINFUL OCCUPATION,
NUEVA VIZCAYA: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	62,971	100.0	54,639	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	42,845	68.0	38,027	69.6
Craftsmen, production process workers and related laborers	4,581	7.3	3,967	7.3
Sales workers	3,542	5.6	2,157	4.0
Professional, technical and related workers	3,095	5.0	3,041	5.6
Service, sports and related workers	2,803	4.4	2,886	5.3
Workers in transport and communications	2,317	3.7	1,812	3.3
Clerical workers	1,394	2.2	1,012	1.8
Stevedores, related freight handlers and laborers, n.e.c.	992	1.6	901	1.6
managerial workers	675	1.1	195	0.4
Others n.e.c., and occupations unidentifiable	727	1.1	641	1.1

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of workers were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

POPULATION 10 YEARS OLD AND OVER CLASSIFIED BY MAJOR
GAINFUL OCCUPATION, BATANES: 1970 AND 1975

Major Gainful Occupation Group	1975 ¹		1970 ²	
	Number	Percent	Number	Percent
Total	4,721	100.0	5,778	100.0
Farmers, fishermen, hunters, loggers and related workers	3,705	78.5	4,345	75.2
Professional, technical and related workers	271	5.7	522	9.0
Clerical workers	212	4.5	83	1.5
Service, sports and related workers	158	3.3	198	3.4
Craftsmen, production process workers and related laborers	107	2.3	226	3.9
Sales workers	88	1.9	108	1.9
Administrative and managerial workers	56	1.2	149	2.6
All others	124	2.6	147	2.5

¹All data for 1975 were taken on a 100-percent basis. Economic activity concept is based on "usual occupation" (gainful activity during the past twelve(12) months).

²The 1970 data on occupation, industry and class of worker were based on a 5-percent sample. Economic activity concept is based on "labor force" (gainful activity during the past week).

次に職業別の人口構成をみると、特に第一次産業就業人口比に注目すべきである。データの入手できた県別第一次産業就業人口比は、

	1970	1975
PANGASINAN	53.3(%)	54.2(%)
Mt. PROVINCE	83.8	87.6
BENGUET	53.8	46.6
ABRA	75.2	78.0
ILOCOS SUR	62.7	63.5
ILOCOS NORTE	64.4	65.5
CAGAYAN	72.0	72.1
IFUGAO	88.5	90.1
NUEVA VIZCAYA	69.6	68.0
BATANES	75.2	78.5

となっており、一般的に増加傾向にあることに注目すべきである。減少傾向を示すのは僅かに BENGUET と、NUEVA VIZCAYA のみである。

II-2 保健医療システムの現況

本章については、SEAMIC (SOUTHEAST ASIAN MEDICAL INFORMATION CENTER) 発行の HEALTH PLANNING AND HEALTH INFORMATION IN SOUTHEAST ASIA (書名)の中に掲載されている、Dr. R. Suplido, Dr. Fernando T. Avelino による秀れた報告である Health Information for Regional Health Planning in the Philippines の必要部分を引用する。

保健医療システムについて

・保健医療の政策と計画

保健医療に関する政府の政策には3本柱がある。それは国家医療、民間医療特定医療問題に関する各政策であるが、三番目のものはこの報告ではとり扱わない。

1. 国家医療

1) 国家は主な保健医療の責任がある。「原則宣言と国家方針」の項の第7章にすべての国民の生与の権利として新憲法が健康であることを保証しているが、その内容は「人々が人間としての標準的な生活を享受することを保証するために国家は保健医療の分野において、十分な社会的サービスを確立し達成し遂行する。」ことを言明している。同項の第5章には保健医療責任と特に若年層の保健医療について政府は言及しているが、「国家建設における若年層の活気あふれる役割を認識し、若年層の物理的、知的、社会的福利を向上させる。」ことを言明している。さらに政府の4年間計画によれば「健康な国民は生産的な国民である。したがって十分な保健医療サービスを供する計画はすべての計画に関連させなければならない。」ということである。

2) 政府は厚生省 (the Department of Health) にこの保健医療機能を委任している。また政府は統合再編計画法のもとに厚生省に保健医療を遂行することを委任している。この法律によれば、「厚生省は保健医療分野において政府の行政上の各部局で主要な方針を立案し、計画し、関連統合を行ない、行政を執行する。厚生省の主要な役割は国民の保健の発展 (Promotion)、保護 (Protection)、予防 (Preservation) である。

3) 政府は総合的な医療看護を与える。1969年(RA 6111)のフィリビ

ン医療法によれば「包括的で総合的な医療看護計画を採用し実施することにより国民に総合的な医療サービスを徐々に行なう」ことを宣言している。この計画は健康保険基金を通して適切な医療看護のための支払いを援助することを目的としている。この計画では医療サービスの適用範囲は患者の支払い能力ではなく医療サービスの必要性に基づき医者や病院の選択の自由が認められている。このことは政府に自由な病院サービスを供給する負担を減らしている。

- 4) 政府は窮乏している患者に必要な医療を施す。保健医療の分野における平等性を確保するために政府は窮乏している患者に必要な医療を施す。種々の政府病院においてフリーベッドやチャリティベッドの準備運営によりこの責任を果すことが可能になる。病院融資法 (RA 1939) によると、すべての政府病院は少なくとも90% (後に70%に減じられた) 以上のフリーベッドやチャリティベッドのベッド数を扱うことになっている。さらに同法では一般病院で人口5,000人毎に一つのフリーベッドを設けることが政府に義務付けられている。政府病院から遠くはなれている地域や政府病院に行くのが困難な場合、RA 2931の充当された基金から補助金を与えて窮乏患者に民間病院でチャリティベッドを与える。これらのことはすべて厚生省が引き受ける。
- 5) 政府は農村地域に保健医療サービスを行なう。統合再編法によると厚生省は「農村地域に最大限の医療サービスを行なう。」ことが定められている。この農村地域における医療の強化はRA 1191により改正されたRA 1062の「農村地域医療及び歯科医療の強化と実施するための基金を供給すること」により可能になった。またすべてのマニユンパリティに地域保健所 (Rural Health Units - RHUs) が設けられた。またマニユンパリティ (町) の人口規模によりこのスタッフの数や構成が決定される。
- 6) 政府は病院を設立する。フィリピンの保健医療に必要なものを供給する義務を完遂するために種々の法律 (RA 1939の病院融資法やRA 5720の国立地方病院の設立) のもとに病院を設立する。
- 7) 政府はすべての医療実施についてコントロールする。政府は医療規定と1959年のフィリピン医療法による教育を規定する。内科、外科治療に従事する人々の資格を審査する規定や特殊な領域の治療を行なう方法や内容の規定を実施する。これはすべて公共に高度な専門医療看護を確保するためのものである。政府は保健医療が生命とかがわっており、患者は一般的には保健医療サービスの質を判断する能力に欠けているので特別な統制力を行使した。

2. 政府—民間医療

医療サービスの責任は政府にあるけれども、このことは必ずしも政府がすべてのサービスをすることを意味しない。たとえかなり多くの部分を政府がサービスしても実際は民間のサービスも含まれる。しかしながらある政府政策は民間のサービスを管理することにより確立される。

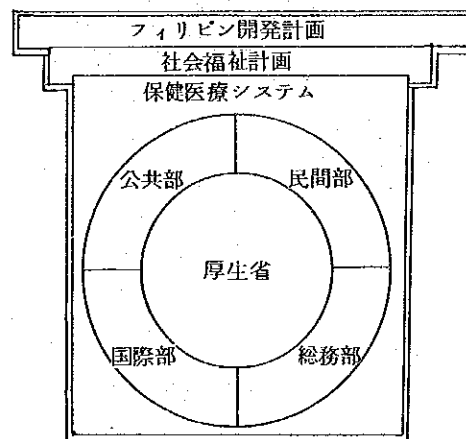
- 1) 民間病院の統制 民間病院の統制は病院免許法 (RA 1226) により行使される。政府はすべての病院に免許を強要する。計画の認可、建設許可が要求される。
- 2) 政府は企業や学校に医療行為を要請する。国民の保健医療を増進保護するために政府は各種施設や公立、私立学校に緊急医療行為を雇用者や学生に行なうよう要請する。(RA 46 RA 3961 RA 124 AD 114 S 1970)

・保健医療組織と下部組織

1. 保健医療サービス施行システムの組織

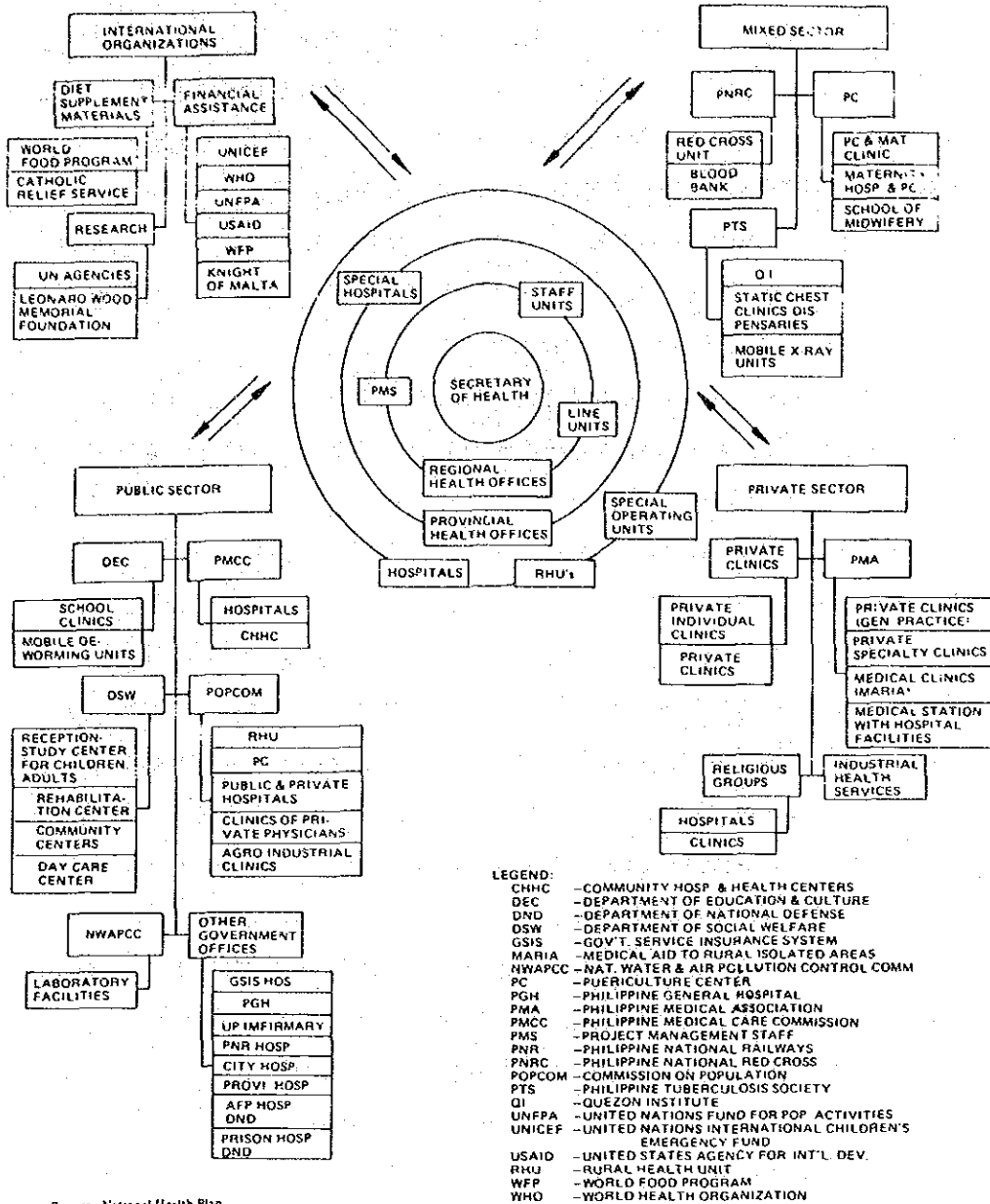
フィリピンの保健医療システムは保健サービスを行なうために相互に関連した複合組織である。このネットワークの中心は厚生省—DOH (the Department of Health) であり国民保健の擁護と達成の責任を有する。他の主な部局は以下の如くである。(図 2 , 3)

- 1) 公共部—政府の代行機関で、保健医療の能力を持ち (DOH 以外に) 政府のコントロール下にある機関。
- 2) 民間部—民間病院、医院、開業医からなる。
- 3) 総務部—民間や他の医療機関の専門的代行を行なう。
- 4) 国際医療部



図—2 厚生省の役割

DOH のライン構成 — 地域保健所と病院 — フィリピンの一連の保健医療



Source: National Health Plan

Fig. 3 The Philippines Health Care Community

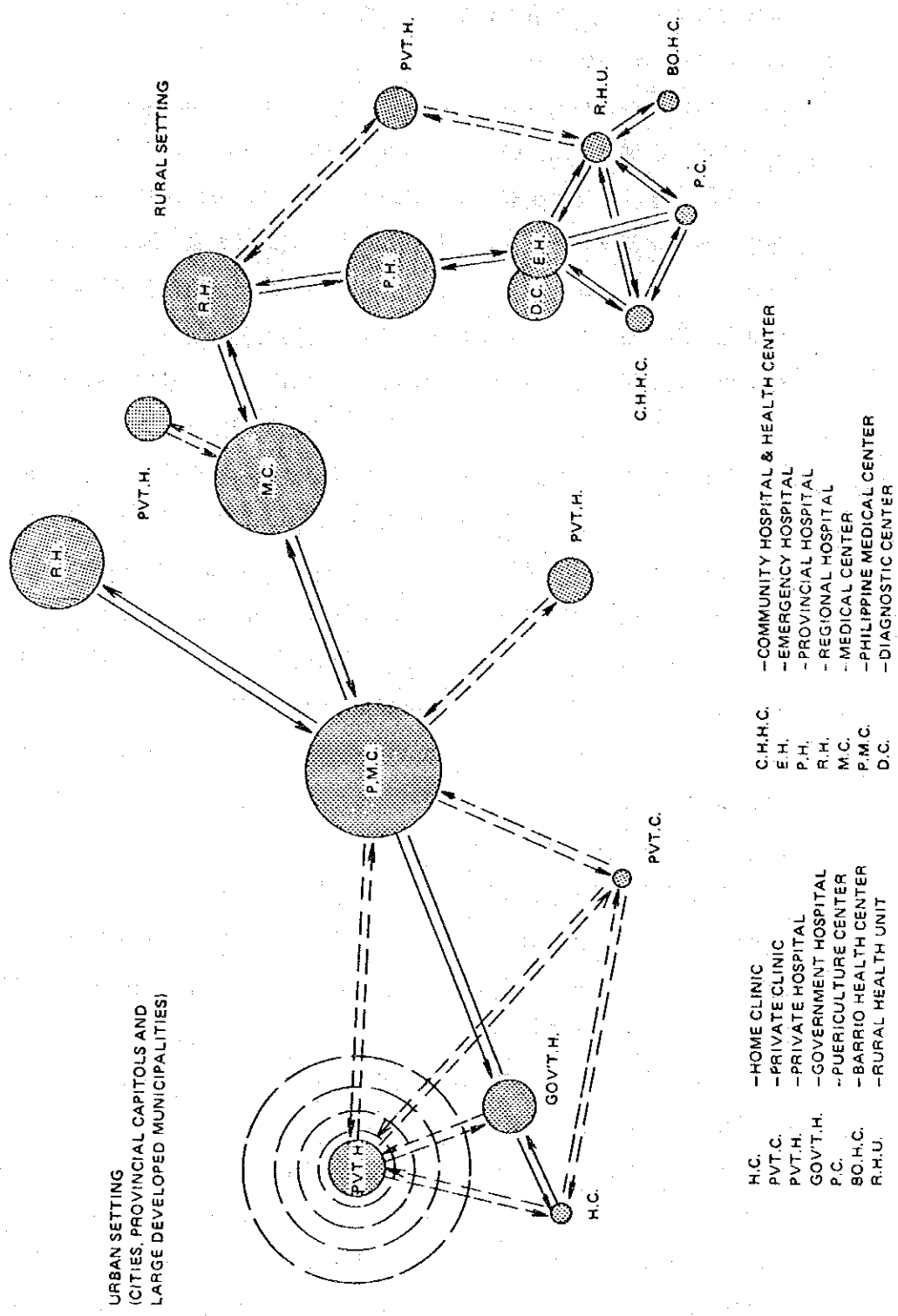


Fig. 4 Philippines Health Care System

サービスを行なうシステムの手足である。他のグループは主に治療行為における保健医療サービスや諮問を行ない厚生省を援助する。(図4)

2. レベル別組織について

厚生省は組織としてレベル別になっている。4つの局がありそれぞれ歯科医療局、保健医療局、医療研究局、検疫局であり、それぞれ全国12州で地方局がある。本省は保健医療計画課、管理課、財務課、放射線医療部、保健教育訓練部、疾病情報センター、食品薬品管理部、国民栄養課、国民家族計画課、スキストソミアシス研究センター、マラリア撲滅課、地域医療実施計画、皮膚病学研究実施計画、国立ガンセンター計画実行委員会、五つの特定病院がある。地方保健医療局(Regional Health Office)は、地方保健医療局長により運営され、その下に技術サービス係、地方保健訓練センター、地方保健研究所、財務運営係、管理係がある。地方保健医療局は都市保健部、県保健部、政府病院によって構成されている。都市保健部の下に都市保健センター、社会衛生クリニックがあり、県保健医療局(Provincial Health Office)のもとに地域保健所と地区病院(Community Hospital)と保健センターがある。

地域保健所はマニユンパリティとバランガイ(パリオ)に直接的なサービスを行なう。ポブシオンにはメイン保健センターがあり、バランガイの保健ステーションでは、人々に最初の保健医療システムが与えられる。地域保健所では医者、保健婦、衛生夫、助産婦によって構成される。助産婦はその担当区域で5,000人あたり1人の割合である。

3. 下部組織計画

国民に対する保健医療サービスを有効なものにするためにそれを支える下部組織計画を有効なものにしなければならない。下部組織計画の戦略には保健医療サービスである治療の形態(地域保健所と地区保健センター対病院)や患者による施設の受入れやすさ、行きやすさ(道路ネットワーク、人口密度、場所)が考慮されなければならない。

1976・1985と1986-2000以上の計画期間を通して地域人口の70%が利用できる地域保健サービスを支えるために、診療センターとともに地域保健所と地区保健センターが有効なものでなければならない。伝染病から非伝染病へのパターンの変化により現在あるベッド数が国レベルでは病院ベッド数の必要数に十分見合うであろう。しかしながら特に未開地においての病院ベッド数の配分が悪いので病院の増築、新設を行なわなければならない。同時に1978年に不十分な病院すべてを1983年には完全なものにしなければならない。1985年以降は新しく緊急病院の設立建設が行なわれてはならない。現在あるすべての緊急病院について診察能力を増大させるために、最新のものにし

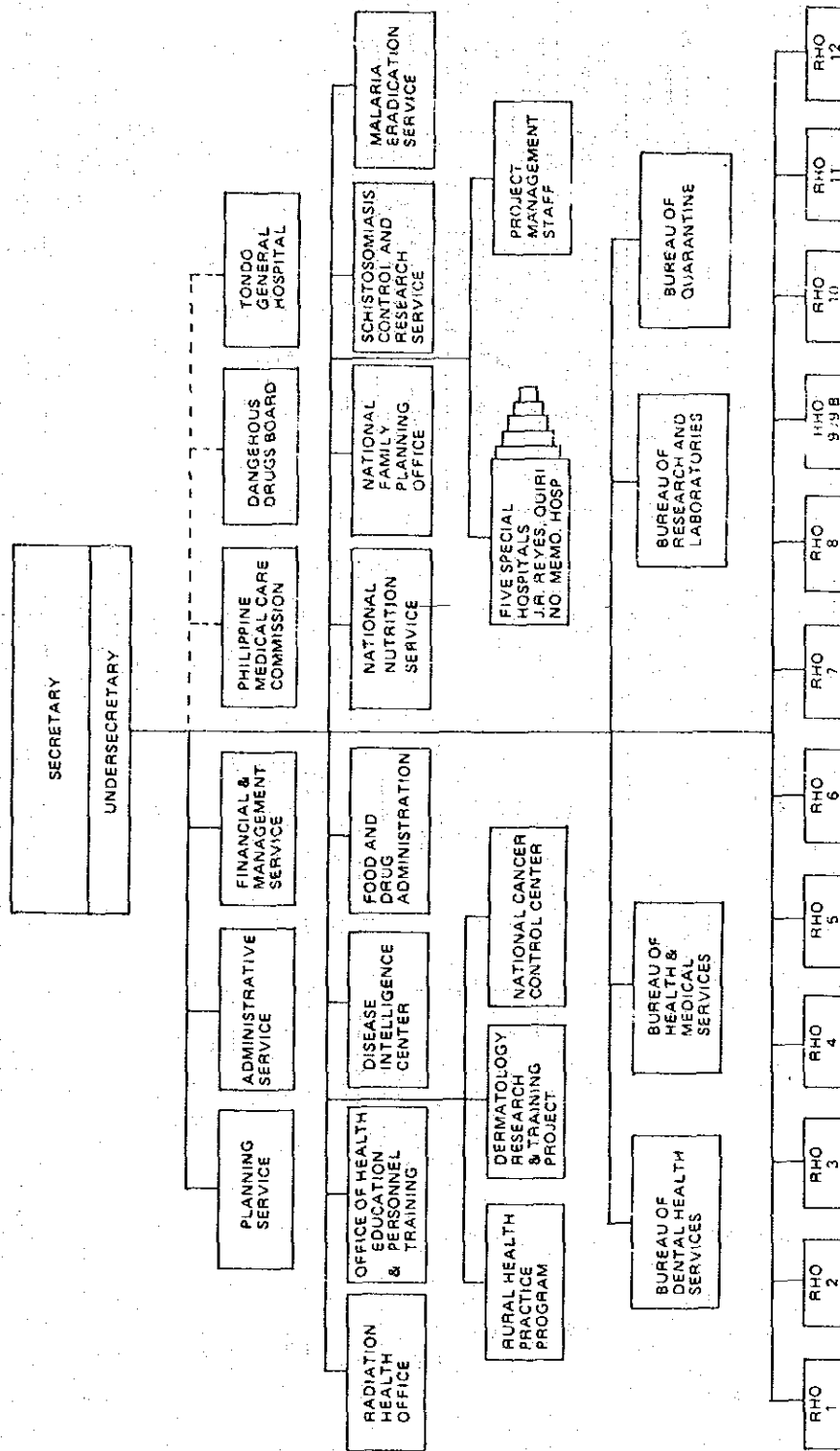


Fig. 5 Organization Chart of the Department of Health, the Philippines

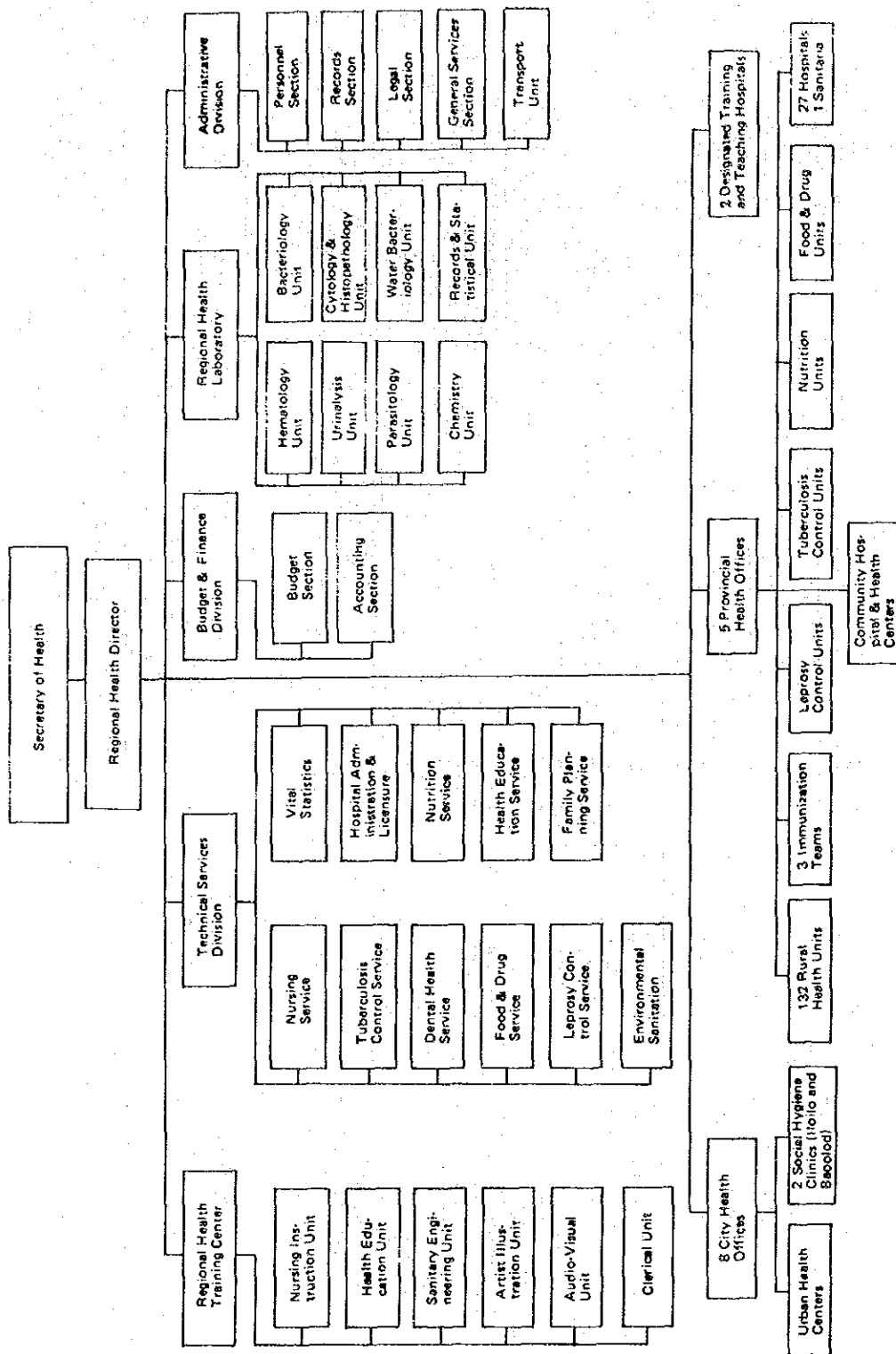


Fig. 6 Organization Chart for the Regional Health Office, the Philippines

なければならぬし、地域保健所や未開地センター、地区病院、保健センター、開業医をカバーする診察センターにしなければならない。

下部組織計画に関する政策は以下のようなものである。

1) 病 院

(1) 病院自体の建物は別として下部組織運営のための建築物の準備

(2) 病院の中の下部組織の確立—最低70%のベッド占有率に見あった建設開始

(3) 新しい病院の設立拡張は可能性分析等の計画考査に依存している。新病院の設立は中止されることもある。

2) フィリピンのすべての地方保健医療局の下部組織を複合するための事務所の準備。

3) 地域保健所 (RHU) はマニラシティ (町) において、それ自体の建物にはないので地域保健所の下部組織を準備すること。

4) アラバングの血清ワクチン研究所の建設と、食品薬品研究所設立計画は拡張計画にあわせて考慮されなければならない。

・保健医療予算と財源

政府の保健医療サービスの運営は国家予算、地方予算、健康保険基金、医療サービスに対する領収、寄付、あるいは外国や国際機関からの補助金やローンによっている。

一方民間では、サービスに対する報酬、民間基金、健康保険基金、有志の寄付によっている。

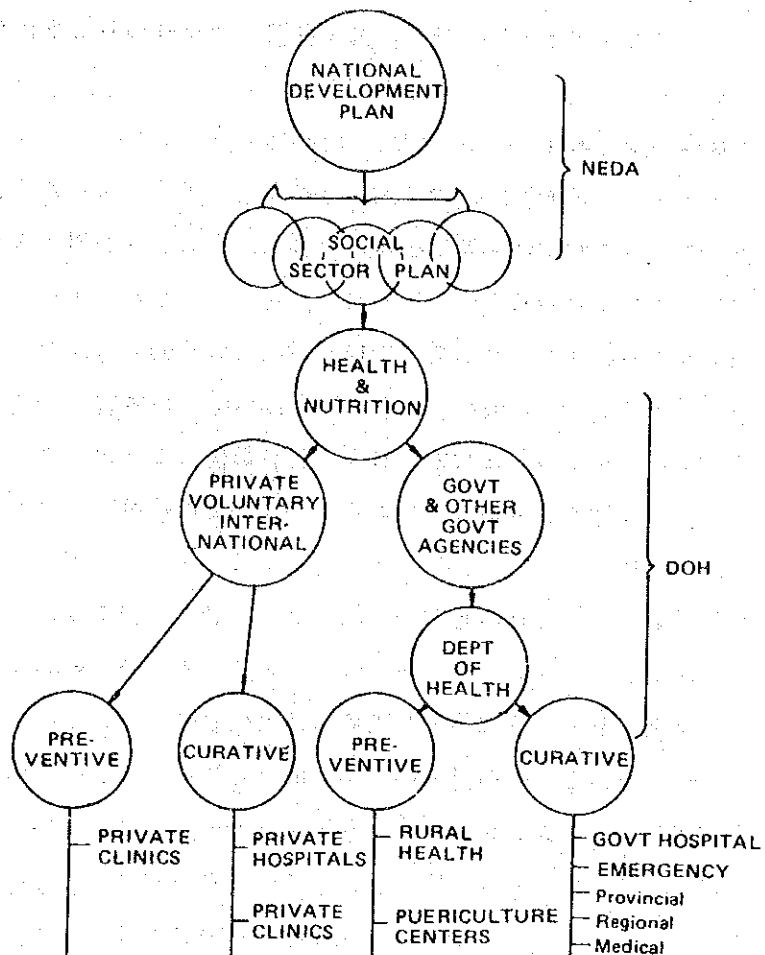
1. 保健医療に関する国家政府支出 フィリピン政府は1973-1974年の会計年度に保健医療に対して総予算の3.4%をあてた。保健医療支出は1963年に112百万であったのが1974年には477百万と10年間にかなり増大した。しかしながらこの成長は全政府支出の増大によるものであり、全政府支出の中で占める割合は1963年に6.0%であったのが、1974年には3.4%に落込んでいる。さらに全保健医療支出の増大は人口増や、物価上昇、貨幣価値の落下により相殺されてしまっている。保健医療費を頭割にしてみると、価値が一定として1963年には1人あたり4.76ペソであったのが、1974年には5.43ペソとなり不規則ではあるがやや増加している。貨幣価値の低落があるので、USドル換算による一人あたりの保健医療費をみると1963年に1.22ドルであったのが、1974年には0.81ドルになっている。保健医療費の低下は重要な薬品や医療機材や機器の不足につながっている。このような状態が続くならば保健医療サービスにおける効果的な進歩は困難であろう。

保健医療の政府責任はフィリピンの政府予算に占める意義の低下に見あっている。英国やオーストラリア、米国等各先進国はそれぞれ全予算の9.3%、12.7%、6.6%も支出している。アジア諸国に関してはシンガポールとマレーシアはそれぞれ16.0%と5.8%であるが、フィリピンを含む他のアジア諸国の保健医療に関する予算の全予算に占める割合は低く、一人あたりの額も少ない。フィリピンの保健医療費が国家予算の中に占める位置は第5番目である。他の政府責任——教育、国防、農業、下部組織については予算の中でもっと大きな割合になっている。

2. 厚生省支出 政府保健医療予算のかなりの部分(81.7%)が厚生省支出で占められている。しかしながら1963年を除いて徐々にその割合は低下している。それは保健医療の職務の多様化による他省庁への部分的移管によるものであろう。たとえば汚染問題は厚生省の衛生環境の領域にあったのであるが、現在では他庁の職務になっている。また同様に、栄養問題や人口制御の問題は厚生省とは別の省庁によって取り扱われている。
3. 財源 保健医療に関する主な財源は会計年度1974-75では保健医療に関するすべての財源のほぼ89.8%にのぼる一般財源である。厚生省はこの数年一般財源からの支出が漸時増大している。一般財源は1973年には厚生省予算の95.7%になるが、1975年には厚生省予算の97.1%に増加している。1973年から1975年の信託金はわずかであるが、特別財源はすべての財源の3%になる。民間医療については現在有効な資料がないが、政府支出に比べて、全体で同じか、もしくは越えることはないと思積られる。これらは主に医療サービスに対する報酬による財源である。
4. 主な予算配分 会計年度1974-75の全厚生省予算のうち、一般病院サービス、地域保健所、特別病院の運営が保健医療予算のほぼ3/4になりそれぞれ34.4%、18.3%、14%である。これらの医療サービスの本来性からして、他の保健医療計画よりも優先権がある。しかしながら、1973年には76.6%であったのが、1975年には70.0%に漸減している。マラリア撲滅と国民栄養、スキストソミアンズ制御と家族計画に対しては増加している。
5. 国民機関からの協力 米合衆国国際開発機関、ユニセフ、WHO、世界銀行からさまざまな保健医療行為に関して実質的に援助を受けている。

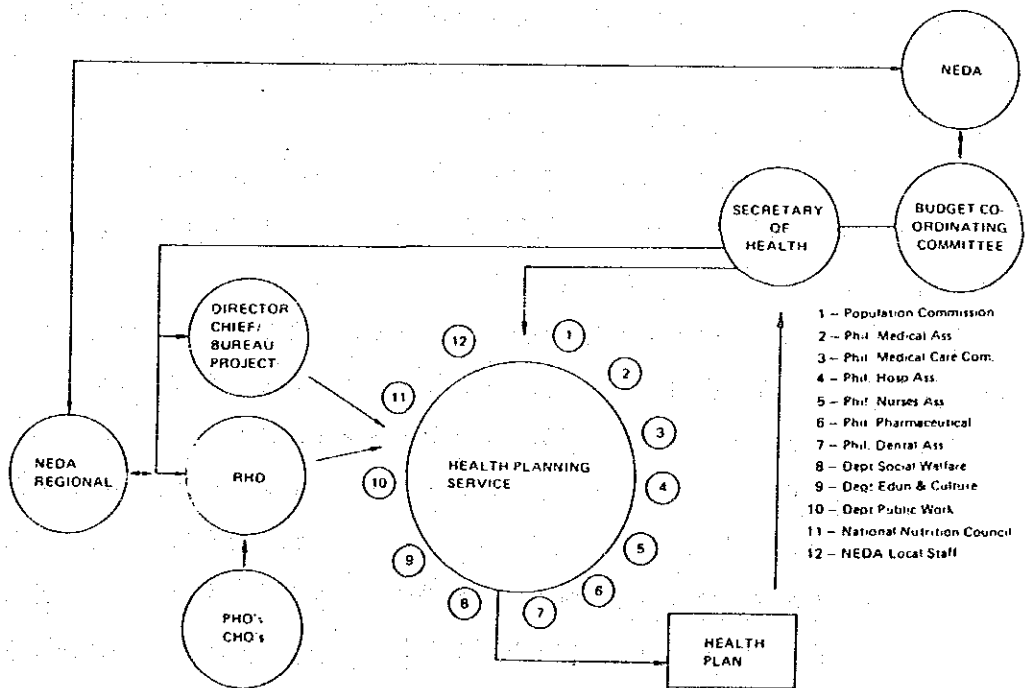
保健医療計画関連活動

国民保健医療計画は厚生省と経済開発庁(National Economic Development Authority NEDA)のスタッフにより合せて検討された。NEDAはフィリピンの計画のネットワークを扱う中央機関である。一方他省庁や民間



NEDA: National Economic and Development Authority
 DOH: Department of Health

Fig. 7 Levels of Plan in the Philippines Context



- 1 - Population Commission
- 2 - Phil. Medical Ass
- 3 - Phil. Medical Care Com.
- 4 - Phil. Hosp Ass.
- 5 - Phil. Nurses Ass
- 6 - Phil. Pharmaceutical
- 7 - Phil. Dental Ass
- 8 - Dept Social Welfare
- 9 - Dept. Educ & Culture
- 10 - Dept Public Work
- 11 - National Nutrition Council
- 12 - NEDA Local Staff

Fig. 8 Health Planning Cycle of the Philippines (Department of Health)

部はフィリピン開発計画に従ったそれぞれの計画の具体案を作成する。

・保健医療計画の手順と方法

フィリピンにおける計画は新しくはないし多くのことに日常的である。何年にもわたって計画は問題解決についてよりも各省庁の財源要求にそったもので、それに照準をあわせたものになってきた。国レベルでは計画は主にNEDAの役割である。異なった部局における計画は断片的であった。これは予算獲得競争の結果であった。しかし統合再編計画以来、計画は科学的になり問題は整理された。計画は機能区分的であるため分散することができ、計画部局はそれぞれ異なった行政省庁に設けられた。開発途上の現段階では、計画行為は組織の最も下の部分—— マニユンパリティ（町）のレベルまで及んでいる。州と地域開発委員会はそれぞれの地理的領域に対する計画を行なうために設立された。国レベルからマニユンパリティ（町）のレベルまでの行政の異なったレベルで計画の必要性を支えるために計画の構造は何層にもなっている。したがって上から下へ、下から上への計画のタイプが作られた。こういうことで計画は異なった部局によって具体化されるようになり地理的領域が合理的で、受容でき、互いに手だすけできるようになり、予算の公平な配分ができるようになった。

1972年に作られた保健医療計画課は厚生省における計画活動を行なう。この課ができるまで計画はプラグマティックであった。各省庁の部局は他の省庁とは別々に自分の計画を作っていた。このことが結局、保健医療予算獲得競争になり、国民に十分還元されない計画が予算計上された。保健医療計画課の成立は保健医療計画を前進させた。もっとも省内の部局を越えた協力はこれからも成されなければならない。（図8）

州地方計画と同様国家計画を具体化するために保健医療計画課によって提案された計画の中に計画の各過程で以下の段階がガイドラインとして示された。

1. ガイドラインの設定

計画の性格、展望、あるいはプロセスによる方向付を決定すること。予想される技術的、法的、行政的、物理的な限界を明確にすること。適用範囲、計画の目的、期限、保健医療予算要求を明詳に述べること。

2. 状況分析 この段階では以下のフィリピン保健医療の資料を伴なう。人口、罹患率病気による死亡率、それぞれ年齢、性別によるもの。保健医療に影響する環境の分析資料。組織や経営、施設、マンパワー、保健医療予算を含むフィリピンの保健医療財源の分析資料、フィリピンの社会経済開発のレベルを考慮する。

3. 計画の具体化 この段階では計画の目標が設定される。目標の達成に対

する保健医療の方策を考え、最適な方策が選ばれる。また、この段階では利用できる財源と低価格で最も効果的技術による達成とを考慮しながら保健医療サービスによる保健医療の達成すべき望ましいレベルについて決定がなされなければならない。

4. 計画の実行 計画が実行可能な形にととのえられ、国の計画が州や県や地域の計画に分化され、具体的な目標、目標達成までの期間、必要財源、計画実行のための詳細が扱われる。

5. 計画の評価 別に、保健医療計画の効果や有効性を評価するシステムが計画の一部として考えられるであろう。これは経営的にコントロールすることや、保健医療計画を変更する程度を決定することに必要な有意義なサービスやあるいは疾病の情報を集める“情報システム”を作りあげることが伴う。

保健医療の情報と計画を結びつけること

現在の厚生省では活動に関連したすべての情報を扱ういかなる関連組織もない。フィリピンの情報システムはそれぞれの部局の責任であり、経済開発庁の国勢調査局によって集められる。

保健医療統計は末端組織を通して個別に基本的には、週毎、月毎、年毎に集められる。この基本的資料は地域保健所や病院から得られる。中央での保健医療統計は疾病情報センター(Disease Intelligence Center)で取り扱われる。行政上の統計はそれぞれの部局、計画毎に取り扱われている。資料収集は末端組織や各関連地域で進められる。その時期は、実際それぞれのユニットでそういった資料が必要になったとき実施される。それぞれの末端組織で行なわれる資料収集の内容は重複することがある。情報内容に応じて資料収集の新しい方法が考えられ実行されることがあたりまえのことである。このような関連性のなさは末端組織での報告の重複による。保健医療に関する有効な統計としては収集すべき情報として十分見合っているとはいえないので、事実の投影に関して低い評価を下してしまうおそれがある。計画進行を助けるために保健医療計画課はそれ自体の統計の必要性に応じるため一時的に自らの資料収集システムを持つこともある。

保健医療の情報と計画を結びつけることから生じる問題

1. 計画者と統計調査員とのコミュニケーションの障害 — それぞれの技能、知識、経験に対する理解の不足
2. 計画者と統計調査員の行なう仕事に対する財源の不足

3. 保健医療情報システムの設立に対する行政官の認識不足
4. 保健医療情報システムが、計画者のニーズにあっていない。
5. 決定権を持つ人が、保健医療情報を用いない。
6. 資料提供者と潜在的利用者（行政官と政策立案者）の接触がまれである。
7. 統計調査員の十分な訓練の不足

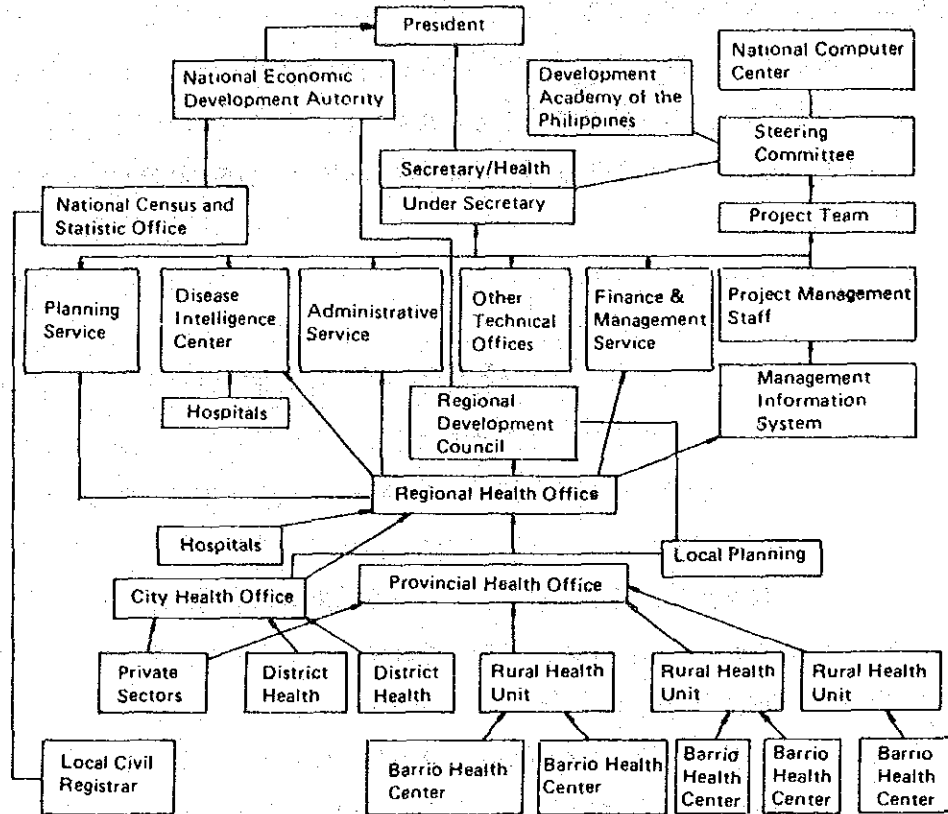


Fig. 9 Philippine Health Information Network

II-3 地域医療の現況

1) 地域医療需要の現況

a) 平均寿命、死亡率、出生率

(i) 平均寿命 (Life Expectancy)

フィリピンの平均寿命は1918年男25.2才女26.1才であったが、医療技術の進歩と環境衛生状況の向上によって徐々に増加し、1970年には男55.2才女60.9才まで急速に上昇した。これは日本の1948年頃の数値と一致する。

この数値は1976年には男女平均60.0才になり更にNEDAの人口動態の目標値として1976年 60.8才 1979年 61.2才 1980年 61.6

平均寿命の国際比較

	年次	男	女
日本	1977	72.69	77.95
エジプト	1960	51.6	53.8
カナダ	1970~72	69.34	76.36
エル・サルバドル	1960~61	56.56	60.42
プエルトリコ	1971~73	68.98	76.05
アメリカ白人	1975	69.4	77.2
アルゼンチン	1970~75	65.16	71.38
インド	1951~60	41.89	40.55
イスラエル	1974	70.3	73.9
大韓民国	1970	63.0	67.0
タイ	1960	53.6	58.7
オーストリア	1975	67.7	74.9
チェコスロバキア	1973	66.53	73.49
デンマーク	1972~73	70.8	76.3
フィンランド	1974	66.90	75.41
フランス	1972	68.6	76.4
ドイツ民主共和国	1969~70	68.85	74.19
ドイツ連邦共和国	1973~75	63.04	74.54
ギリシア	1960~62	67.46	70.70
ハンガリー	1974	66.54	72.42
アイスランド	1971~75	71.6	77.5
イタリア	1970~72	68.97	74.88
オランダ	1971~75	71.2	77.2
ノルウェー	1973~74	71.50	77.83
ポーランド	1975	67.02	74.26
ポルトガル	1974	65.29	72.03
スペイン	1970	69.69	74.96
スウェーデン	1976	72.12	77.90
スイス	1968~73	70.29	76.22
イングランド・ウェールズ	1970~72	68.9	75.1
ユーゴスラヴィア	1971~72	65.59	70.42
オーストラリア	1965~67	67.63	74.15
ニュージーランド	1970~72	68.55	74.60
ソ連	1971~72	64.0	74.0
フィリピン	1970	55.2	60.9

才 1981年 62.0才

1982年 62.4才

1989年 64.4才ま

で上昇させる計画である。

国際的に見てフィリピンの平均寿命は開発途

上国より長いが、先進

国よりはるかに短い。

注 年次は作成基礎期間を示す。

資料 Demographic Yearbook 1975 U. N.

但しアメリカは Vital Statistics of the United States

1973 スウェーデンは Befolkningens förändringar 1976

日本は厚生省簡易生命表、完全生命表

諸外国の人口・出生・死亡・乳児死亡実数・率

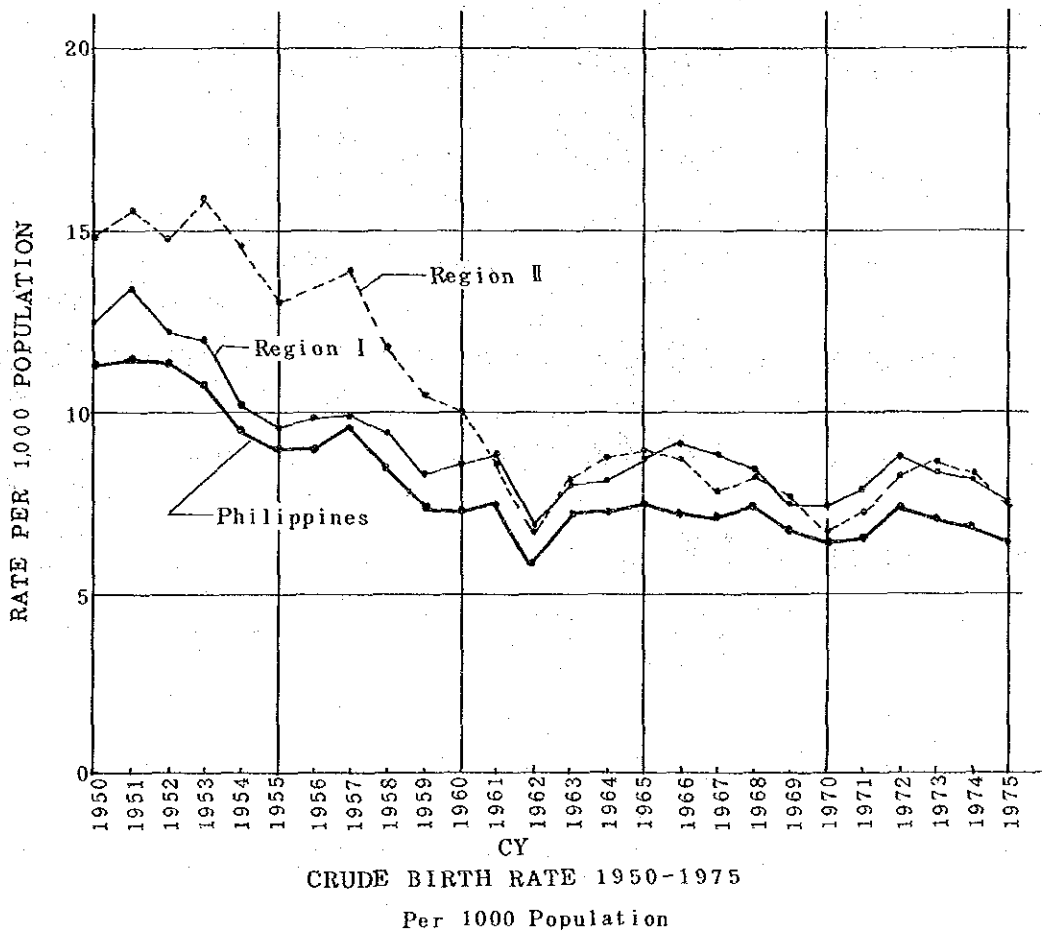
昭和49年(1974年)

国名	符号	人口 (単位千人)	出生		死亡		乳児死亡	
			実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生千対)
日本	C	109 410	2 029 989	18.6	710 510	6.5	21 888	10.8
エジプト	C	36 420 *	1 292 458	35.5 *	453 199	12.4 *	129 789	100.4
アルゼンチン	C	25 050 (70)	544 521	22.9 (70)	222 113	9.4 (70)	32 099	58.9
カナダ	C	22 480 *	345 645	15.4	166 794	7.5	5 192	15.0
	C	10 080 (72)	256 075	25.3 (72)	88 656	8.8 (72) *	19 752	*78.0
コロンビア	U	23 950 (73)	733 138	31.6 (73)	260 572	11.2 (73)	72 139	98.4
インドネシア	U	58 118 *	2 523 000	43.4 *	417 100	7.2 (73)	133 842	52.0
アメリカ	C	211 389	3 159 958	15.0	1 934 388	9.2	52 776	16.7
ペルー	U	11 632	433 397	38.3	73 555	6.5	19 932	46.0
イギリス	U	32 140 *	1 249 000	38.9 *	150 000	4.7
フランス	C	2 840	93 166	27.7	24 135	7.1	2 186	23.5
スイス	U	41 457	1 078 184	26.1	283 975	6.9	63 491	58.9
スペイン	C	13 680 (72) *	384 066	29.5 (72) *	100 080	7.7 (72) *	17 331	45.1
オーストリア	U	38 762 (73)	1 167 272	29.3 (73)	239 151	6.0 (73)	25 470	21.8
	C	7 550	97 430	13.0	94 324	12.6	2 285	23.5
デンマーク	C	5 045	71 327	14.1	51 637	10.2	762	10.7
フィンランド	C	4 691	62 472	13.3	44 674	9.5	645	10.3
フランス	C	52 492	801 218	15.3	552 551	10.5	11 764	14.7
東ドイツ	C	16 925	179 127	10.6	228 955	13.5	2 844	15.9
西ドイツ	C	62 054	626 373	10.1	727 511	11.7	13 232	21.1
ハンガリー	C	10 480	186 288	17.8	125 816	12.0	6 390	34.3
アイスランド	C	220 *	4 233	20.4 *	1 495	7.0	50	11.4
イタリア	C	3 090	68 784	22.3	34 468	11.2 (73)	1 234	18.0
オランダ	C	55 410	871 631	15.7	528 461	9.5	19 685	22.6
	C	13 540	185 982	13.7	109 250	8.1	2 104	11.3
ノルウェー	C	3 985	59 603	14.1	39 464	9.9	623	10.5
ポーランド	C	33 846	621 080	18.4	277 085	8.2	14 610	23.7
スペイン	C	8 780	171 979	19.6	96 928	11.0	6 515	37.9
スウェーデン	C	34 829	686 198	19.3	295 469	8.4	13 481	19.6
	C	8 160 *	109 874	13.5	86 316	10.6	1 009	9.2
スウェーデン	C	6 440	84 507	13.1	56 403	8.8	1 053	12.5
イングランド・ウェールズ	C	49 201	639 885	13.0	585 292	11.9	10 500	16.3
北アイルランド	C	1 547	27 160	17.6	17 327	11.2	567	21.0
スコットランド	C	5 226	70 093	13.4	64 740	12.4	1 326	19.0
ユーゴスラビア	C	21 155 *	379 090	17.9 *	179 481	8.4	15 164	40.4
オーストラリア	C	13 338	245 177	18.3	115 833	8.7	3 958	16.1
ニュージーランド	C	3 044	59 336	19.6	25 261	8.3	922	15.5
ソ連	C	252 060	4 546 095	18.0	2 191 395	8.7	125 908	27.8

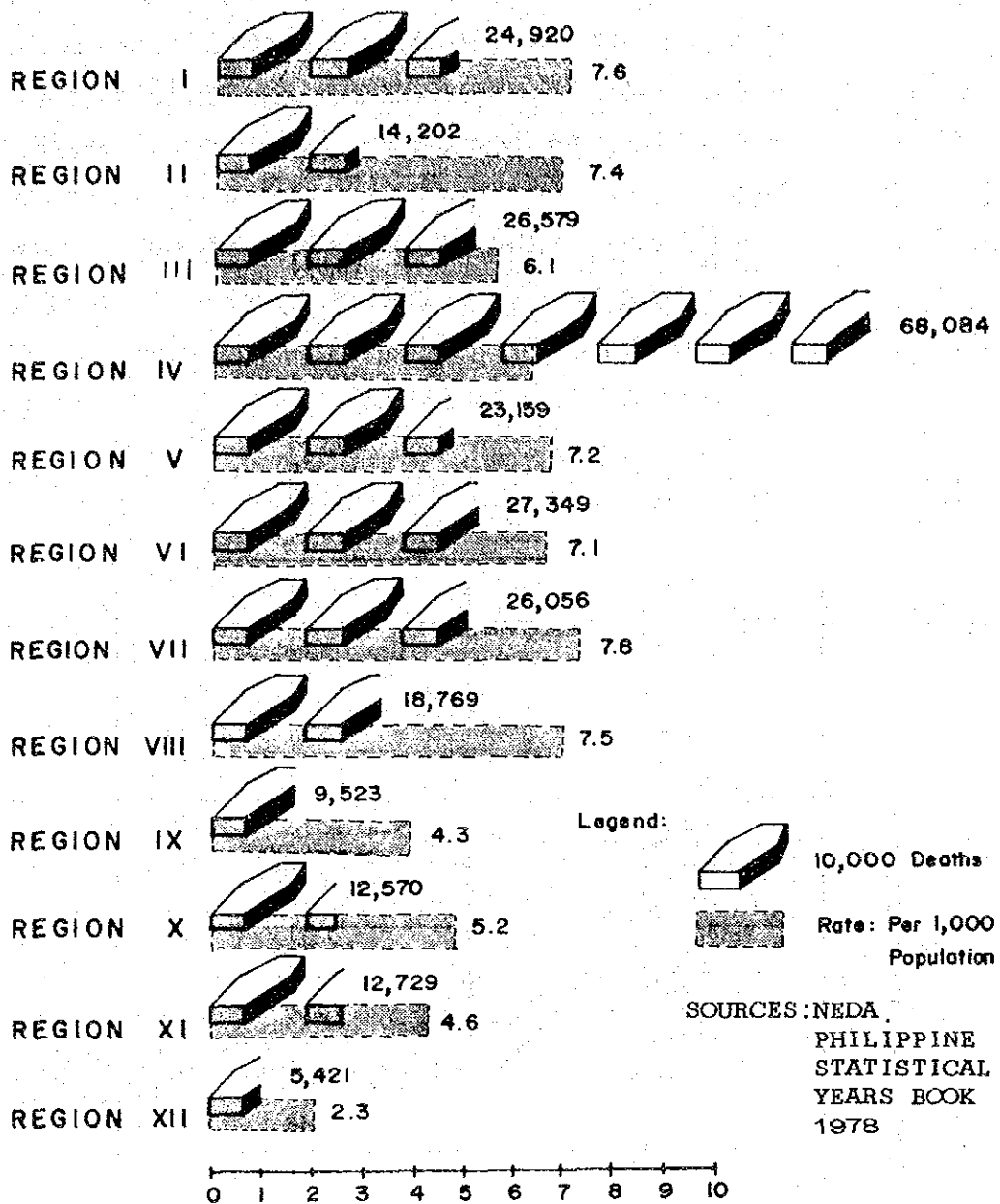
注1) 符号Cは資料の正確完全性が90%以上、Uは90%未満である。*印は暫定数
資料 World Health Statistics Annual 1973-1977, Vol. 1, Demographic Yearbook 1975, 日本厚生省「人口動態統計」

(ii) 粗死亡率 (CRUDE DEATH RATE)

フィリピンの粗死亡率は人口千人当たりをとると 1921-25年に 18.9%であったものが 1974年には 6.9%にまで下がっている。粗死亡率はそのままでは、その国、又は地域の衛生・医療状況を示す指標とはならず、年々の人口の老齢化による影響を取り除いて死亡状態の改善度を見るには訂正死亡率の年次推移を見ねばならない。今回は残念ながら訂正死亡率算定の為のデータが入手できなかったが、フィリピンの粗死亡率の低下は単純に粗死亡率のみで比較できる、発展途上国の段階を脱して訂正死亡率によるより細かい調査を必要とする段階にきているといえる。地域別にみると、REGION I, IIともフィリピン全国の平均値を常に 1~1.5 程度上まわっていて全国的に見て高い数値を示している。又 1950年以後の REGION II の粗死亡率の低下が急速であることに注目したい。



NUMBER OF DEATHS AND RATE BY REGION: CY 1975



**-MORTALITY: ALL CAUSES BY AGE AND SEX, NUMBER,
PERCENTAGE DISTRIBUTION AND RATE: CY 1975**
(Rate per 1,000 population)

Age	Number of deaths			Percent distribution			Rate		
	Both sexes	Male	Female	Both sexes	Male	Female	Both sexes	Male	Female
ALL AGES	289,381	152,451	116,910	100.0	100.0	100.0	6.3	7.2	5.5
Under 1 year	56,743	33,019	23,724	21.1	21.7	20.3	37.0	42.6	31.2
1- 4 years	41,522	22,240	19,282	15.4	14.6	16.5	7.4	7.7	7.0
5- 9 years	10,624	5,884	4,740	3.9	3.9	4.1	1.8	1.9	1.6
10-14 years	5,036	2,910	2,126	1.9	1.9	1.8	1.0	1.1	0.9
15-19 years	6,437	3,839	2,598	2.4	2.5	2.2	1.5	1.8	1.2
20-24 years	7,740	4,898	2,842	2.9	3.2	2.4	2.1	2.8	1.4
25-29 years	7,269	4,493	2,776	2.7	2.9	2.4	2.2	2.9	1.6
30-34 years	6,909	4,124	2,785	2.6	2.7	2.4	2.5	3.0	2.1
35-39 years	8,564	5,128	3,436	3.2	3.4	2.9	3.9	4.6	3.2
40-44 years	8,408	5,120	3,288	3.1	3.4	2.8	4.7	5.7	3.7
45-49 years	9,179	5,686	3,493	3.4	3.7	3.0	6.3	8.1	4.7
50-54 years	9,591	5,910	3,681	3.6	3.8	3.1	7.6	10.2	5.4
55-59 years	10,381	6,306	4,075	3.8	4.1	3.5	9.9	12.7	7.4
60-64 years	13,198	7,877	5,321	4.9	5.2	4.6	15.0	19.3	11.2
65-69 years	12,752	7,259	5,493	4.7	4.8	4.7	21.2	25.0	17.7
70 years and over	53,215	26,661	2,855	19.7	17.5	22.7	62.5	63.4	61.7
Not stated	1,793	1,097	696	0.7	0.7	0.6	—	—	—

P Preliminary.

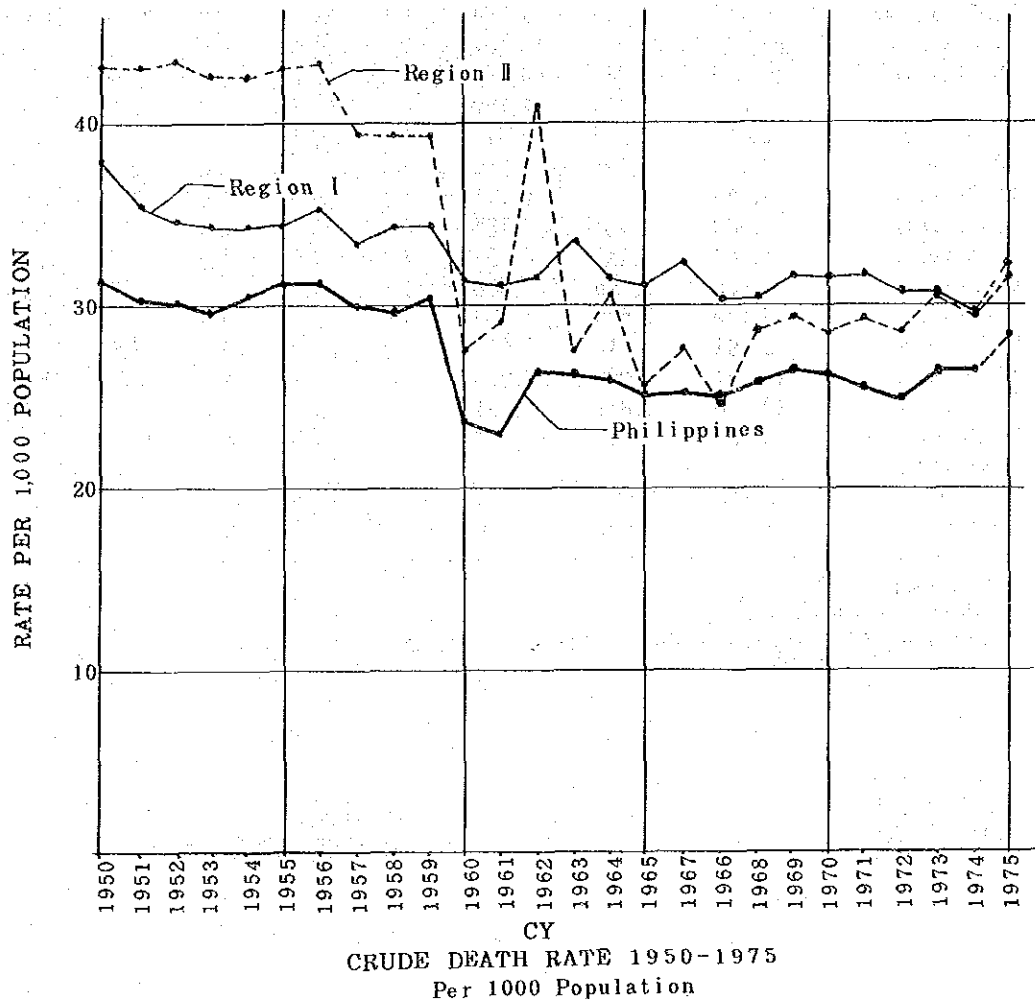
¹ Medium assumption used.

Source of data: Disease Intelligence Center, Department of Health.

⑩ 出生率 (ORUDE BIRTH RATE)

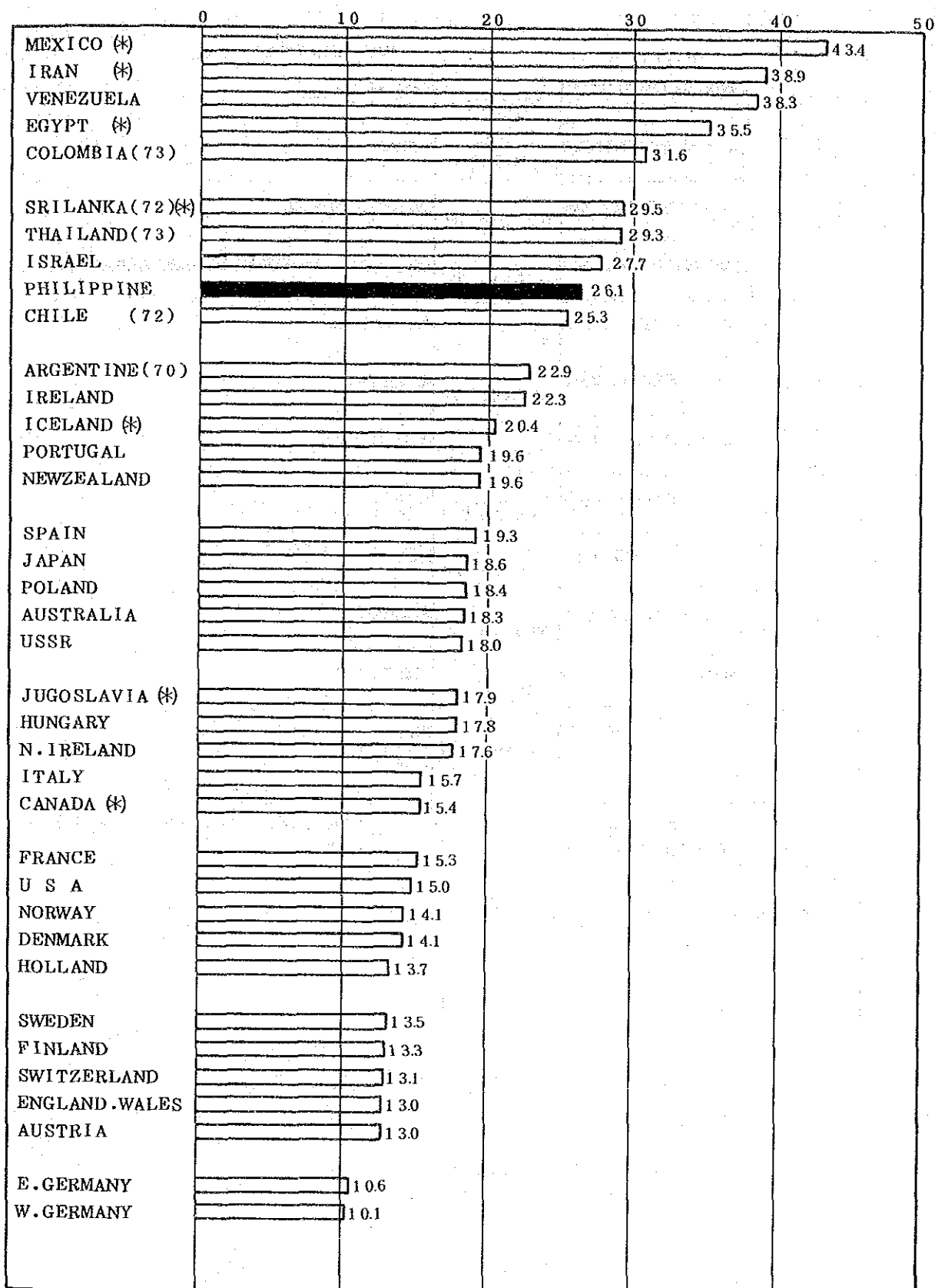
フィリピンの出生率は、国際的にみて高い水準を示し、1974年には人口1000人当たり26.1人であり、1962年頃から横ばい状態を示す。

地域別に見ると、1950年にはフィリピンの全12州の中でREGION II, Iがそれぞれ43.4%, 38.0%の出生率を示し、1位・2位を独占していたが、1974年には、29.6%, 29.7%と未だに高くはあるがフィリピン平均値に近いところまで下ってきた。



CRUDE BIRTH RATE : PER 1000 POPULATION CY

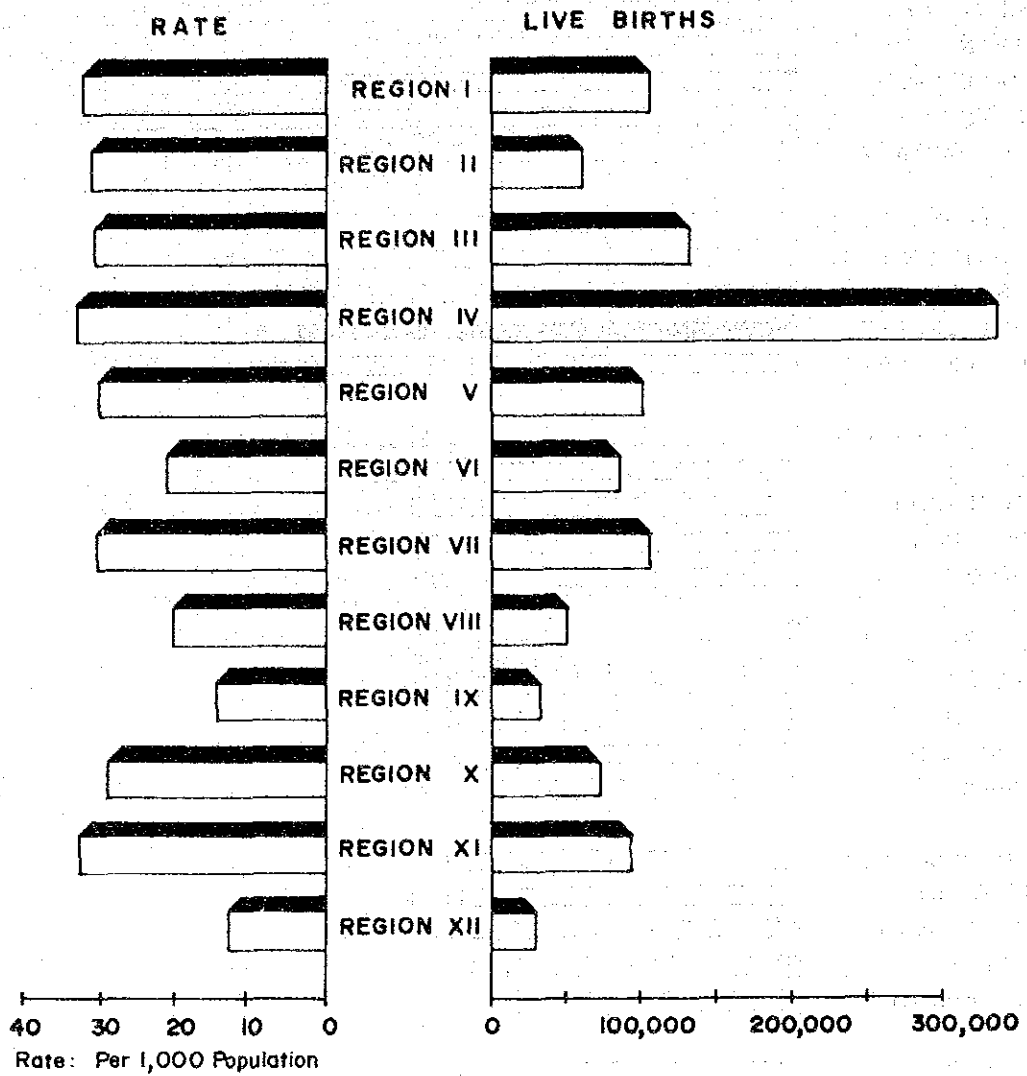
1974



SOURCES: WORLD HEALTH STATISTICS ANNUAL VOL 1. 1973-1977

* NOT FINAL DATA

NUMBER OF LIVE BIRTHS AND RATE BY REGION: CY 1975



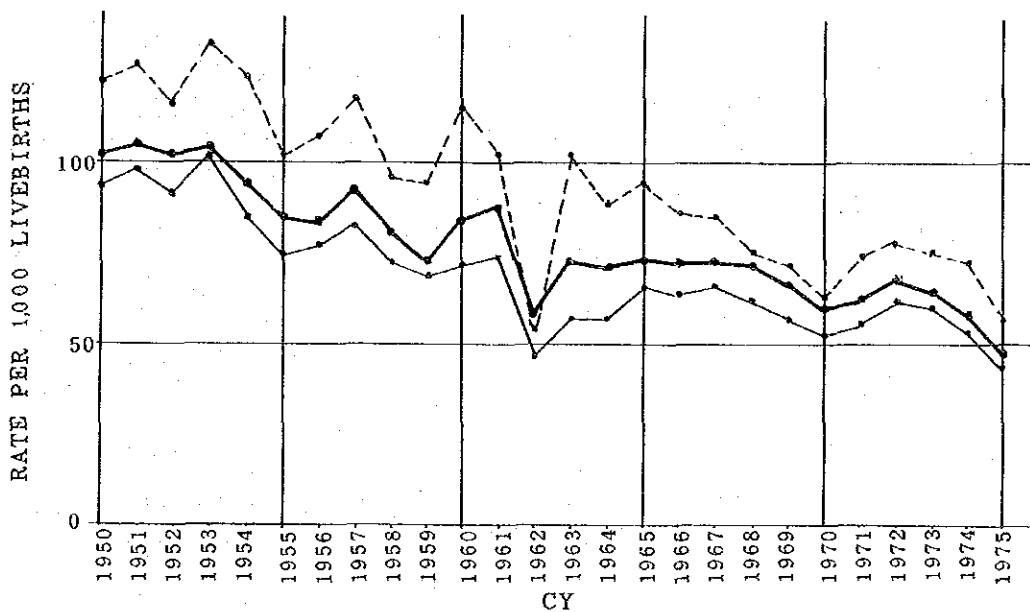
SOURCES: PHILIPPINE STATISTICAL YEARS BOOK 1978, NEDA.

(iv) 乳児死亡率 (INFANT MORTALITY RATE)

フィリピンの乳児死亡率は、1950年 101.6、1960年 84.6、1965年 72.9、1970年 60.0、1974年 58.9 と着実に減少の傾向にある。

しかし国際的に見た場合、かなり高い率を示す。フィリピンの乳・幼児死亡率は深刻な問題であり、全国の総死亡のうち1975年のデータによれば1才未満の死亡が21.1%を占め、1才～4才の死亡は15.4%、5才～9才の子供の死亡は、3.9%を占め、この三者のみで40%位の率を占めることとなる。

これは国際的にみて1人当りの国民所得の同程度の国々と同じ位の値を示し、この背景には栄養失調、ひいては伝染病の問題が横たわっている。地域別にみると、1950年に Region I、IIの値はそれぞれ94.29と121.90とRegion IIが圧倒的に高く、Region Iはフィリピンの平均値を下まわっている。この傾向は、1974年に於ても変わらない。一般に乳児の生存は母体の健康状態・養育条件の影響を特に強くうける為、乳児死亡率はその地域の衛生状態・生活水準を反映する指標の1つである。ここにもRegion IIがRegion Iに比して遅れている事を示す例証がある。



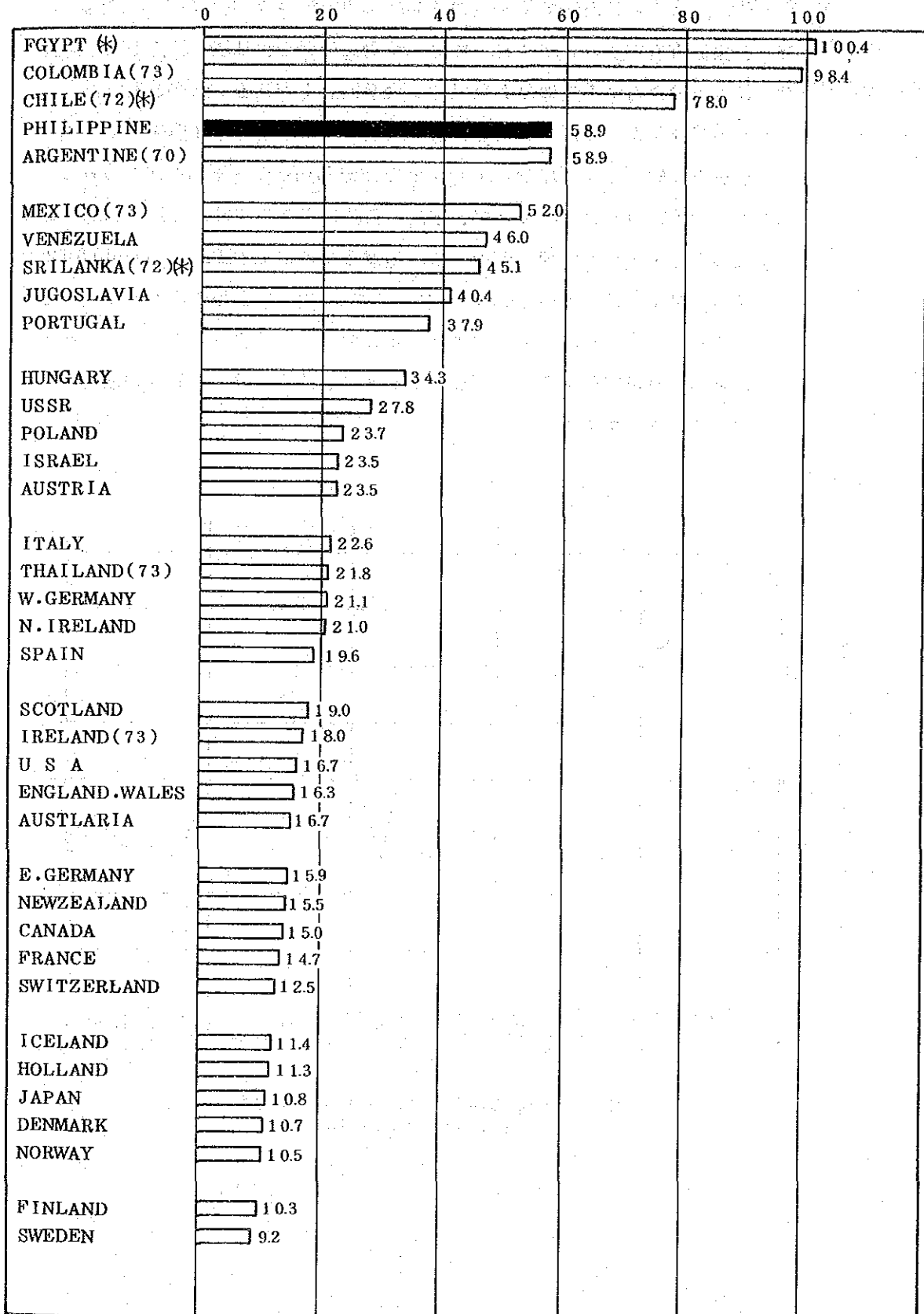
INFANT MORTALITY RATE 1950-1975
(UNDER AGE 1 YEAR)

乳児死亡率 出生千対 の国際比較

	1940年	1950	1960	1965	1970	1973	1974	1975	新生児死亡率 (再掲)			
									1970	1973	1974	1975
日本	90.0	60.1	30.7	18.5	13.1	11.3	10.8	10.0	8.7	7.4	7.1	6.8
カナダ	56.4	41.5	27.3	23.6	18.8	15.5	15.0	...	13.6	10.7
アメリカ	47.0	29.2	26.0	24.7	20.0	17.7	16.7	*16.1	15.1	13.0	12.3	...
アルゼンチン	90.2	68.2	62.4	60.7	58.9	24.5
チリ	217.2	139.4	125.1	107.1	77.1	65.2	63.3	...	31.5	26.9	25.8	...
コロンビア	140.9	123.9	99.8	82.4	...	98.4
グアテマラ	108.9	106.8	91.9	94.6	87.1	81.2	30.8
スウェーデン	148.9	81.6	56.8	53.2
オーストリア	74.2	66.1	37.5	28.3	25.9	23.8	23.4	20.5	19.0	17.9	17.1	15.4
チェコスロバキア	98.8	77.7	23.5	25.5	22.1	21.2	*20.4	20.9	15.7	16.0	15.4	...
デンマーク	50.2	30.7	21.5	18.7	14.2	11.5	10.7	10.3	10.9	8.7	8.0	8.0
フィンランド	95.3	52.0	27.4	22.1	18.2	15.5	14.7	...	9.5	7.8	7.5	...
ドイツ連邦	64.1	55.6	33.8	23.9	23.6	22.9	*21.1	...	18.4	16.5	15.3	...
インドネシア	130.1	85.7	47.6	38.8	35.9	33.8	34.3	32.9	28.5	27.5	28.4	26.8
イタリア	102.7	63.8	43.9	35.6	29.5	26.2	22.6	...	20.3	19.4	16.9	...
オランダ	39.1	25.2	17.9	14.4	12.7	11.5	11.3	10.6	9.4	8.5	8.0	7.6
ポルトガル	...	108.0	56.8	41.8	33.2	25.8	23.7	24.9	19.5	16.4	15.6	15.9
スペイン	126.1	94.1	77.5	64.9	58.0	44.8	37.9	39.3	25.4	21.1	20.9	22.3
スウェーデン	113.7	69.8	43.7	37.3	27.9	1)15.1	19.6
スイス	39.2	21.0	16.6	13.3	11.0	9.9	9.2	8.6	9.1	7.8	7.1	6.4
アイスランド	46.2	31.2	21.1	17.8	15.1	13.2	12.5	10.7	10.8	9.4	8.4	7.4
イングランド・ウェールズ	57.4	30.0	21.8	19.0	18.1	16.9	16.3	16.0	12.3	11.1	11.0	10.7
ユーゴスラビア	...	118.4	87.7	71.5	55.5	44.2	*40.4	*40.5	23.4	20.6
オーストラリア	38.4	24.5	20.2	18.5	17.9	16.5	16.2	...	12.9	11.8	11.6	...
ニュージーランド	...	27.6	22.6	19.5	16.7	16.2	15.6	...	10.3	9.8	9.4	...
ソ連	...	81	35	27.6	24.4	26.4	27.8
フィリピン	...	101.6	84.6	72.9	60.0	64.7	58.7	47.6

注 1) は出生登録前に死亡した出生乳児を除く
 資料 1940—Demographic Yearbook 1953 版 1950—Demographic Yearbook 1959 版
 1960— " " 1964 版 1965— " " 1967 版
 1970—1974については Demographic Yearbook 1973, 1974 World Health Statistics Annual 1970—'72, 1973—'77
 日本 厚生省「人口動態統計」
 フィリピン: Disease Intelligence Center DOH;

INFANT MORTALITY RATE: PER 1,000 LIVE BIRTHS, CY 1974
(UNDER AGE 1 YEARS)

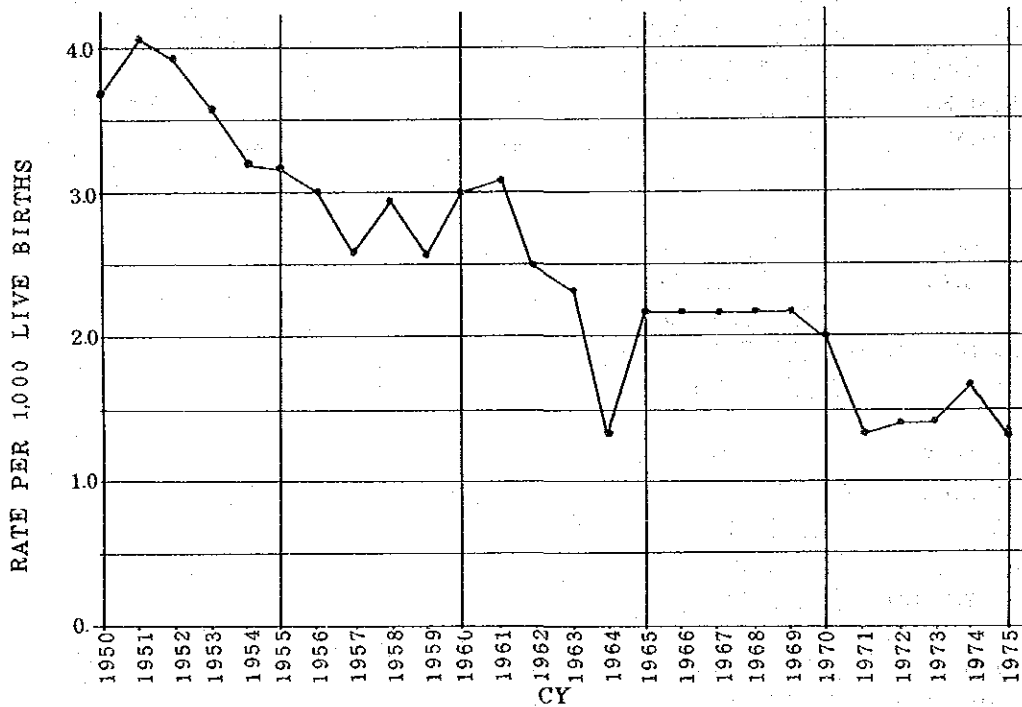


SOURCES: WORLD HEALTH STATISTICS ANNUAL UOI 1, 1973-1977

(V) 妊産婦死亡率 (MATERNAL DEATH RATE)

1931-35年に7.2%であったが戦後4.2(1979)まで下がり、その後序々に下る傾向を見せつつ、1971年頃から1の大体にのった。

家庭出産の多いフィリピンでは妊産婦死亡率も、地域・家庭の衛生条件、妊娠出産に対する無知、非科学的な出産に対する風習etcの為高いが、最近の保健教育、特に山間部農村部へ入りこんで活動する産婆達の積極的な活動と、病院出産の増加etcにより妊産婦死亡率の低下傾向がみられる。1971年のデータによれば、家庭・病院出産の比率は75.6%対24.4%であり、また妊産婦死亡例のうち、治療を受けたもの(Examined)57.2%、看護を受けたもの(Attended)37.4%、死亡報告のみなされたもの(Simply reported)5.4%となっていて、報告されないケースを入れたら、事後報告を含めて医療サービスをうけずに終わった妊産婦死亡率は更に高くなるであろう。



MATERNAL DEATH RATE 1950-1975
Per 1000 Live Births

(vi) 病気別・乳幼児死亡率

肺炎が同じく第一位で減少傾向にあり(0.2%)、第二位は胃腸炎で、第三位先天性不具もやや減少傾向にある(0.6%)、第四位ビタミン欠乏症・栄養障害は僅かに増加(0.1%)、無酸素症・低酸素症は増加が著しい(1.9%)、急性気管支炎も増加が著しく(2.5%)、麻疹はわずかな増加(0.3%)、脳膜炎もわずかな増加(0.1%)を示している。

上位10位の疾病構造をみると、1974年では

感染系(A型) 48.1%

出産系(C型) 9.7%

その他(E型) 6.2%

となり、ここでも感染系疾患の多い事が示されている。

INFANT MORTALITY: TEN (10) LEADING CAUSES, NUMBER
AND RATE PER 1,000 LIVEBIRTHS AND PERCENTAGE
DISTRIBUTION: CY 1969-73 AND 1974

		5 - Year Average 1969-73			1974		
		Number	Rate	Per Cent of Infant Deaths	Number	Rate	Per Cent of Infant Deaths
Pneumonia	肺炎	17,274	17.3	26.3	16,549	15.3	26.1
Gastro-Enteritis	胃腸病	5,623	5.6	8.6	5,448	5.0	8.6
Congenital Anomalies	先天性不具	1,960	2.0	3.0	1,520	1.4	2.4
Avitaminosis & other Nutritional Deficiency	ビタミン欠乏症 栄養障害	4,039	4.0	6.1	3,942	3.6	6.2
Anoxia & Hypoxia Conditions Not Elsewhere classified	無酸素症・低酸素症	3,546	3.5	5.4	4,659	4.3	7.3
Bronchitis, Emphysema & Asthma	気管支炎	4,109	4.1	6.3	2,301	2.1	3.6
Tetanus	破傷風	2,612	2.6	4.0	2,820	2.6	4.4
Acute Respiratory Infections	急性気管支炎	346	0.3	0.5	1,888	1.7	3.0
Measles	麻疹	670	0.7	1.0	842	0.8	1.3
Meningitis	脳膜炎	646	0.6	1.0	717	0.7	1.1

Source: Disease Intelligence Center, Department of Health

病気別妊産婦死亡率

Main Cause		Material Mortality Rate	
		5-Year Average (1970-1974)	1975
All Causes		1.5	1.4
Toxemias of Pregnancy and Puerperium	妊娠・産褥時の胎毒	0.2	0.3
Haemorrhage of Pregnancy and Childbirth	妊娠・出産時の出血	0.9	0.8
Abortion	墮胎	0.1	0.1
Sepsis of Pregnancy, Childbirth and the Puerperium	妊娠・産褥・出産時の敗血症	0.07	0.09
Other Complication of Pregnancy, Childbirth & the Puerperium & Delivery without mention of complication	その他の妊娠・産褥・出産時合併症及び合併症なしの出産	0.2	0.2

(viii) 伝染病 (COMMUNICABLE DISEASE)

前述した様に、伝染病対策が当面のフィリピン医療の最重要項目の一つであり、1947年に全死亡の57%を占めていたものが、1974年には47%まで減少したとは言え、その絶対量・相対量の多さは変わらない。成人病 (Degenerative Disease) が、同期間中2.0%から12.7%まで増加してきているが、この構造の逆転には、予防面と治療面の有機的な協同歩調が一層必要となってくるであろう。さらにこの伝染病の優生を支える栄養失調・環境衛生の悪さ etc は医療の問題を超え、広く社会、経済的要因に支配されており、その最大の問題がある。現在 Regional Health office - Provincial Health office - Rural Health Unit の予防活動のメインラインの組織強化が World Bank の援助によって強力に推進されており、次の段階として、地区病院の整備が今回プロジェクトとして始められようとしているのは、伝染病制圧の意味からも極めて期待のもてる事と言える。この趨勢の中で、実際的な、技術的な可能性を見直してみると、予防活動における予防接種は適切な形で行われているか？ 衛生教育は適切な形でなされているか？ それぞれの伝染病に応じた検査及び化学療法が適切に行われているか？ 等が問われねばならない。

今回の現地調査に於て気付いた事は、地区病院が現実的に予防活動の一部をその機能の中に取り込むべきではないかという事である。特に Region II の様にある程度の規模をもった病院が相当距離離れて存在するところでは、予防接種用のワクチンが常時準備されており、かつ、検査機能を備えた核として地区病院に積極的な意味を与えるべきであろう。そしてこの Immunization Program を推進するのに今回地区病院に供給されるであろう、電気・給水は重大な役割を果たすといえよう。

1972~1976年における主要な優襲地域のコレラ患者数

	47('72)	48('73)	49('74)	50('75)	51('76)
総 数	81,166	109,553	99,141	87,475	66,804
ア ジ ア	74,228	100,399	88,774	80,877	64,077
バングラデシュ	1,059	1,969	5,614	4,888	957
ビルマ	61	253	2,149	2,895	1,152
インドネシア	20,453	40,722	30,903	20,714	17,217
マレーシア	44,383	52,042	41,474	48,387	41,264
ネパール	860	390	349	110	246
フィリピン	1	7	8	260	185
タイ	5,601	2,075	1,918	680	1,258
スリランカ	-	844	1,495	1,335	6
ヴェトナム	-	190	4,566	1,453	728
その他	184	1,495	139	5	16
アフリカ	1,626	412	159	150	1,048
ヨーロッパ	6891	8,850	7,877	5,586	2,711
その他	4	303	2,483	1,012	16
その他	43	1	7	-	-

注：輸入例も含む。

資料：WEEKLY EPIDEMIOLOGICAL RECORD, WHO.

コレラ患者は国際的な 1961 年の第 7 次流行後 1964 年頃から一旦下降しはじめたが、1967 年を境として上昇傾向を示し始め 1971 年には世界中で 13 万人の患者の発生を見るに至り、過去 10 年間の最大値を見るに至った。その後再び下降傾向を示すが、東南アジア地方でのコレラはほとんど継続的な流行となっている。フィリピンの場合は、流行地域の中心からははずれているが、それでもかなりの数の流行を示している。

(ix) 栄養失調 (MAL-NUTRITION)

栄養失調の主問題は Protein energy malnutrition (PEM) であり、蛋白栄養の摂取不足及びカロリー摂取の不足を軸としている。更にビタミン、ミネラル欠乏症 (特にビタミン A, B₂, 鉄分, 沃度) もそれに加ってくる。1977 年 5 月の調査によると、就学前児童 440 万人のうち 30.6% が中程度あるいは重症の栄養失調にかかっている。この傾向は一向に減少傾向を示さず、早急、かつ効果的な施策が望まれる。NATIONAL NUTRITION COUNCIL の指導のもとに各地区病院が今以上に積極的にこの問題に取り込むべきであろう。確かに QUIRINO, I FUGAO 地方で見た様に社会的習慣、貧困が栄養失調の治療を行う以前に患者が病院にやってこないという状況が広く存在するが、基本姿勢として、地区病院が分担する役割は、治療面のみとどまらず大きいと言わねばならない。

Region I, II の医療需要の現況

注) 1. ①~⑥はDOH提供資料による。 1975
 2. ⑦~⑩はDOHO Field Operations Reportによる。 1975

	Province	① 面積 Km ²	② 人口 10 ³ 人	③ 人口密度 人/Km ²	④ 出生率 人/1,000人	⑤ 死亡率 人/1,000人	⑥ 人口 増加率 %	⑦ 受付 総患者数 人/年	⑧ 人口当り 患者数 人/10 ³ 人	⑨ 外来 患者数 人/年	⑩ 入院 患者数 人/年	⑪ 出産数		⑫ 主疾病名	⑬ 主死因	
												病院使用 %	件数 人/年			
Region I	Ilocos Norte	3,386	394	116.3	28.4	8.8	1.71					5.0	7,200	URTI PTB Bronchitis	Heart Disease Pneumonia PTB	
	Ilocos Sur	2,580	427	165.5	27.2	8.7	1.02					11.4	11,400	Influenza Gastro-Ent. Bronchitis	C. V. A. Pneumonia PTB	
	Abra	3,976	173	43.5	24.2	6.3	2.22	28,600	165	16,500	12,100	4.9	3,465	Influenza Gastro-Ent. Bronchitis	Pneumonia PTB Cardio Vascular	
	La Union	1,373	441	321.2	29.4	8.7						10.0	13,900	Bronchitis Influenza Gastro-Ent.	Dis. Cir. System Pneumonia Senility	
	Mountain Province	2,347	102	43.5	16.7	5.6		公共のみ 20,319	199	13,960	6,359		744	Gastro-Ent. Influenza TB	Senility Pneumonia Gastro-Ent.	
	Benguet	2,655	329	123.9	32.8	5.7	3.60						7,500	Upper Resp. Infect. Diarrhea Influenza	Pneumonia PTB Senility	
	Pangasinan	5,368	1,621	301.9	36.6	11.4										
	小計	21,685	3,487	160.8	27.9	7.9										
Region II	Batanes	209	12	57.4	31.8	8.7										
	Cagayan	9,003	707	78.5	28.9	8.0							26,500	Bronchitis Influenza Malaria	Pneumonia TB Cardio Vascular	
	Kalinga-Apayao	6,808	167	24.5	18.8	6.1	2.80	公共のみ 10,800	65	2,200	8,600		3,100	Gastro-Ent. Influenza Malaria	Pneumonia Senility Bronchitis	
	Isabela	10,665	807	75.7	30.2	8.2										
	Quirino	1,877	76	24.7	44.9	7.0	3.08									
	Ifugao	2,518	112	44.5	13.0	3.2	2.60						15,75	Bronchitis Influenza Gastro-Ent.	Pneumonia Senility TB	
	Nueva Vizcaya	2,690	241	89.6	28.8	5.9	4.75	12,900	54				4,515	Bronchitis Influenza Gastro-Ent.	Senility Pneumonia Bronchitis	
	小計	33,770	2,122	62.8	28.1	6.7										
フィリピン全国		300,000	42百万人 (1,975)	140.0	26.1 (1,974)	6.9 (1,974)	2.9 (1,975)									

Region I, Iの医療給付の現況

注 1. ①, ②はDOH提供資料による。1975
 2. ③~⑥はDOHのField Operations Reportによる。1975
 3. ③, ④の表中, 上段は病院の数, 下段は全医療施設の数である。

Province	病院数①		ベッド数(認定)②		医師数③		看護婦数④		平均入院日数	ベッド使用率⑥	特殊医療設備
	公	共	公	共	公	共	公	共			
Ilocos Norte	5	14	375	679	1/580						
Ilocos Sur	6	13	275	409	1/1,044						
Abra	2	8	125	321	1/539						
La Union	7	13	360	611	1/722						
Mountain Province	4	7	225	271	1/376						
Benguet	3	16	475	996	1/330						
Pangasinan	9	31	605	1,547	1/1,048						
小計	36	102	2,440	4,834	1/721						
Batanes	2	2	100	100	1/120						
Cagayan	9	19	475	612	1/1,155						
Kalinga-Apayao	7	12	250	329	1/508						
Isabela	7	22	325	568	1/1,420						
Quirino	3	4	150	175	1/434						
Iligao	4	7	150	165	1/605						
Nueva Vizcaya	2	5	250	300	1/803						
小計	34	71	1,700	2,269	1/935						
フィリピン全国	367	1,038	45,177	76,230	1/551						
	(1,975)	(1,975)	(1,975)	(1,975)	(1,975)						

b) 病気の種類と患者数

フィリピンの医療の状況を語るのに伝染病・栄養失調・衛生環境の悪さ・特定疾病（マラリア、日本住血吸虫）及び人口の急成長を抜きには語れない。この5つの背景の上に各地域・地域がそれぞれの地形・風土・経済・社会・交通・教育・文化etcの一般性・特殊性を媒介として種々の地域医療状況をつくり出している。それは一種の悪循環であり、その環を断ち切るべくフィリピン保健省を筆頭に種々の組織が国内、国外の協力を得て日夜闘いに挑んでいる。特に保健省は多大の努力を払って、予防・治療両面にわたって活動をつづけているが、その効果は未だ十分に表われているとは言い難い。人口急成長、衛生環境については、ここで特に取り上げず、別項の参考にしてほしい。ここで個々の疾病について述べる前に全体的にフィリピンの疾病構造はどうなっておりまたその構造的変化が起りつつあるかを知らねばならない。

(i) 疾病率

MORBIDITY: TEN (10) LEADING CAUSES, NUMBER AND CRUDE DEATH RATES, CY 1969-72 AND 1974

Cause	Type	5-Year Average 1969-72		1974	
		Number	Ratel	Number	Ratel
Influenza	インフルエンザ A	302,354	790.6	297,474	717.5
Malignant neoplasms	悪性腫瘍 B	10,124	26.5	12,757	30.8
Gastro-enteritis and colitis	胃腸炎 A	225,362	589.3	245,813	592.9
Tuberculosis(all forms)	全結核 A	141,914	371.1	142,250	343.1
Pneumonia	肺炎 A	88,677	231.9	93,030	224.4
Measles	麻疹 A	23,251	60.8	22,999	55.5
Malasia	マラリヤ A	28,955	75.7	27,420	66.1
Whooping cough	百日咳 A	23,255	60.8	22,042	53.2
Infections Hepatitis	感炎性肝炎 A	4,653	12.2	5,977	14.4
Dysentery(all forms)	赤痢 A	18,424	48.2	23,552	56.8

1 per 100,000 population

Source: 1974 Philippine Health Statistics, Disease Intelligence Center, Department of Health

1位から5位までは一定していて、インフルエンザ、胃腸病、全結核、肺炎、マラリア等の感染性が上位を占めている。これらのうちインフルエンザを除いて全て感染経路、病原体 予防法の確立したものばかりであるところに、フィリピン医療の当面の一大関心事が含まれていると言えよう。1位から10位までで感染性でない疾病は悪性腫瘍のみで、10位の合計のうち感染系疾患は、1969-72年で98.8% 1974年で98.6%と圧倒的な多さを示している。また、この5年間に(1969~1974)全結

核がはっきりと減少傾向を示し始めているが、以前に第3位を占めている。
胃腸病（特に腸チフス、パラチフス、コレラ等）は、少し増加しており、
早急な対策が望まれるところである。

次に各県別の疾病率をみると

MOUNTAIN PROV.

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Gastro-enteritis	4859	45.56
2	Influenza	4328	40.57
3	Tuberculosis	1644	15.41
4	Malaria	643	6.03
5	Pneumonias	622	5.83
6	Dysentery	525	4.92
7	Measles	202	1.89
8	Whooping Cough	189	1.77
9	Varicella	58	0.54
10	Nepatitis	35	0.33

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Senility	61	0.57
2	Pneumanias	56	0.52
3	Gastro-enteritis	44	0.41
4	Tuberculosis	35	0.33
5	Heart Disease	34	0.32
6	Bronchitis	22	0.21
7	Influenza	19	0.18
8	Peptic Ulcer	13	0.12
9	Measles	9	0.08

BENGUET

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Upper respiratory Infection	8093	86.61
2	Parasitism	7973	38.17
3	Anemia	4057	19.42
4	Wounds	3681	17.62
5	Diarrhea	2062	9.87
6	Influenza	1074	5.14
7	Scabies	860	4.12
8	Brónchitis	709	3.39
9	Gastro-enteritis	335	1.60
10	Pneumonia	151	0.72

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Pneumonia	109	0.52
2	Accident	29	0.14
3	PTB	25	0.12
4	Gastro enteritis	25	0.12
5	Cardia respiratory arest	22	0.11
6	Anemia	16	0.08
7	Asphyxia Neoratum	13	0.06
8	Prematurity	11	0.05
9	Senility	10	0.05
10	Congenital Atelectasis	9	0.04

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Pneumonia	39	
2	Prematurity	14	
3	Gastro-enteritis	11	
4	Septicomia	8	
5	Congenital atelectasis	6	
6	Still birth	5	
7	P.T.B.	4	
8	Asphyxia Neoratum	3	
9	Toxemia	3	
10		2	

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Post partum	1	
2	Severe Anemia	1	

LA UNION

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Bronchitis	3929	9.21
2	Influenza	2210	5.18
3	Gastro Enteritis	1991	4.66
4	Pneumonias	1040	2.44
5	Tuberculosis	957	2.24
6	Pertusis	372	0.87
7	Measles	88	0.21
8	Gonorrhoea	87	0.20
9	Typhoid Fever	86	0.20
10	Neoplasm	85	0.20

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Dis. Cir. System	573	1.34
2	Pneumonias	478	1.12
3	Senility	444	1.04
4	Tuberculosis	293	0.69
5	Accidents	177	0.41
6	Cong. Debility	157	0.37
7	Gastro Enteritis	118	0.27
8	Bronchitis	115	0.27
9	Neoplasm	85	0.20
10	Malnutrition	83	0.19

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Congenital Debility	152	24.96
2	Pneumonias	132	21.67
3	Prematurity	82	13.46
4	Bronchitis	71	11.66
5	Gastro Enteritis	30	4.93
6	Rep. Failure	23	3.78
7	Malnutrition	20	3.28
8	Pest Asphyxia	20	3.28
9	Tetanus	19	3.12
10	Meningitis	16	2.63

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Postpartum Hemorrhage	7	1.15
2	Placenta Pravia	3	0.49
3	Eclampsis	2	0.33
4	Retained Placenta	1	0.16
5	Abortion	1	0.16

ABRA

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Influenza	1919	11.48
2	Gastro-Enteritis	1695	10.14
3	PTB (All Types)	974	5.83
4	Bronchitis	905	5.41
5	Pneumonias	178	1.06
6	Pertussis	81	0.48
7	Measles	47	0.28
8	Malaria	32	0.19
9	Numps	30	0.11
10	Beri-beri	3	0.03

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Pneumonias	210	12.57
2	PTB (All Types)	140	8.38
3	Cardio Vascular Diseases	97	5.81
4	Bronchitis	69	4.13
5	Cardio-Vaccular Accidents	41	2.45
6	Malignancy	39	2.33
7	Gastro-Enteritis	33	1.98
8	Beri-beri	24	1.44
9	Homicides	16	0.96
10	Senility		

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Bronchitis	38	10.96
2	Pneumonias	30	8.65
3	Premature Births	13	3.75
4	Beri-beri	11	3.17
5	Cong. Debility	11	3.17
6	Gastro-Enteritis	8	2.30
7	Tet. Neonatorum	6	1.73
8	Cong. Heart Dis.	6	1.73
9	A Neonatorum	5	1.44
10	Malnutrition	4	1.15

NEONATAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Pneumonias	14	4.04
2	Premature Births	11	3.17
3	Tet. Neonatorum	6	1.73
4	Cong. Debility	5	1.44
5		4	1.15

ILOCOS SUR

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Influenza	4800	11.63
2	Gastro-Enteritis	4600	11.18
3	Bronchitis	2523	6.12
4	Tuberculosis all form	1862	4.51
5	Pneumonias	986	1.90
6	Whooping Cough	156	0.38
7	Measles	43	0.35
8	Malignant Neoplasm	38	0.09
9	Mumps	22	0.05
10	Beri-beri	14	0.03

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	C.V.A.	702	1.70
2	Pneumonias	549	1.33
3	Tuberculosis	338	0.82
4	Malnutrition	157	0.38
5	Malignant Neoplasm	145	0.35
6	Bronchitis	118	0.29
7	Gastro-Enteritis	100	0.24
8	Ill-defined diseases, Early Infancy	79	0.19
9	Prematurity	57	0.14
10	Nephritis	51	0.12

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Pneumonias	118	
2	Ill-defined diseases, Early Infancy	79	
3	Bronchitis	58	
4	Prematurity	57	
5	Umbilical Sepsis	38	
6	Gastro-Enteritis	27	
7	Postnatal Asphyxia	15	
8	Beri-beri	10	
9	Malnutrition	7	

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Retained Placenta	4	
2	Eclampsia	4	
3	Postpartum Hemorrhage	3	
4	Plasenta Previa	1	
5	Abortion	1	
6	Miscarriage	1	

ILOCOS NORTE

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

CAUSES		NUMBER	RATE
1	URTI	11198	35.26
2	P.T.B. *	10443	
3	Bronchitis	3988	12.59
4	Gast Enteritis	3490	11.02
5	Influenza	3469	10.95
6	Anemias	2633	8.31
7	Parasitism	2154	6.80
8	Leprosy	1710	5.39
9	Hypertension	990	3.12
10	Malaria	656	2.07

* old and new cases included.

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Heart Diseases	233	0.73
2	Pneumantias	193	0.61
3	P.T.B.	146	0.46
4	Cer. Vas. Accid	144	0.45
5	Accid. Pois & Voil	94	0.30
6	Bronchitis	73	0.23
7	Beri-beri & Other Nutritional Def. States	71	0.22
8	Neoplasms	61	0.19
9	Cong Debility	41	0.13
10	Tetanus	38	0.12

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Broncho-Pneumonia	52	7.22
2	Bronchitis	49	6.80
3	Beri-beri & Other Nut Def. States	44	6.10
4	Tetanus Neon	37	5.13
5	Immaturity	33	4.58
6	Cong. Debility	33	4.58
7	Sepsis Neon	14	1.94
8	Card Resp Arrest	10	1.38
9	Gstro Ent.	9	1.25
10	Asphyxia Neon	7	0.97

CAGAYAN

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1975

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Bronchitis	6334	306
2	Influenza	3672	247
3	Malaria	2933	179
4	Diarrhea-enteritis	2600	153
5	Pneumonla	2141	128
6	Tuberculosis	1902	144
7	Dysentery	264	91
8	Beri-beri	229	89
9	Pertussis	229	33
10	Measles	175	30

MORTALITY (Per 1000 popul)

1975

1	Pneumonia	1078	1.64
2	Tuberculosis	495	7.51
3	Cardio Vascular	468	7.10
4	Bronchitis	440	6.67
5	Senelity	411	6.23
6	Ill-defined diseases	354	5.43
7	Acc. & assanlts	261	3.96
8	Nut. deficiency	244	3.70
9	Malaria	161	2.44
10	Diarrhea-enteritis	131	2.08

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1975

1	Pneumonia	366	13.82
2	Bronchitis	247	11.08
3	Ill-defined dis.	179	8.03
4	Prematurity	153	6.86
5	Umbilical sepsis	128	5.74
6	Avitaminasi Nut. def.	144	5.11
7	Tetanus	91	4.08
8	Postnatal asphyxia	89	3.99
9	Diarrhea enteritis	33	1.49
10	Congenital heart dis.	30	1.35

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1975

1	Postpartum hemorrhage	28	1.26
2	Abortion	7	0.31
3	Retained Placenta	7	0.31
4	Placenta Previa	6	0.27
5	Eclampsia of Pregnancy	4	0.18
6	Raptured uterus	1	0.05

KALINGA - APAYAO

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Gastro-enteritis	4953	30.83
2	Influenza	4171	25.96
3	Malaria	2536	15.78
4	Bronchitis	2314	14.40
5	Tuberculosis	2179	13.56
6	Pneumonias	1006	6.26
7	Pertussis	634	3.97
8	Dysentery	621	3.87
9	Measles	422	2.63
10	Mumps	77	0.48

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Pneumonias	147	0.92
2	Senility & Ill-defined	130	0.81
3	Bronchitis	97	0.45
4	Tuberculosis	71	0.44
5	Accidents	56	0.34
6	Heart Diseases	36	0.22
7	Gastro-enteritis	31	0.19
8	Malaria	27	0.16
9	Prematurity	23	0.14
10	Tetanus	9	0.05

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Bronchitis	52	17.05
2	Pneumonias	43	14.10
3	Ill-defined cause	31	10.16
4	Prematurity	24	7.06
5	Tetanus	13	4.26
6	Asphyxia Necnatumum	9	2.95
7	Gastro-enteritis	8	2.62
8	Heart Diseases	8	2.62
9	Accidents	7	2.30
10	Avitaminosis	5	1.64

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Postpartum Haemorrhage	3	0.98
2	Abortions	2	0.66
3	Placenta Praevia	1	0.33
4	Placenta Retention	1	0.33
5	Dalivery W/complications	1	0.33

NUEVA VIZCAYA

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1976

	CAUSES	NUMBER	RATE
1	Bronchitis	16330	75.07
2	Influenza	13500	62.06
3	Gastro-entritis	6290	28.92
4	Pulmonary Tuberculosis	2100	9.65
5	Pnoumonia	1390	6.39
6	Malaria	1060	4.87
7	Boro-bori	343	1.58
8	Measles	302	1.39
9	Dysontery	171	0.79
10	Mumps	120	0.55

MORTALITY (Per 1000 popul)

1976

1	Prematurity	3224	14.82
2	Sonility	118	0.54
3	Broncho Pnoumonia	106	0.49
4	Bronchitis	45	0.21
5	Pnoumonia	41	0.19
6	Hypertonsion	38	0.17
7	Bori-bori	18	0.08
8	Gastro-entritis	17	0.08
9	Pulmonary Tuberculosis	16	0.07

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Prematurity	24	
2	Broncho pnoumonia	21	
3	Bronchitis	14	
4	Infantile Beri-beri	12	
5	Ill-defined Disease peuliar to early Infancy	9	
6	Cardia Respiratory Arrest	8	
7	Sever Diarrhea	6	
8	Asphyxia	5	
9	Intestinal Abstruction	4	

MATERNAL MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1976

1	Post pastrum Hommage	3	
2	Plasenta Previa	3	
3	Retained Placenta	1	
4	Shock due to inverted uterus	1	

IFUGAO

MORBIDITY (Per 1000 popul)

1977

CAUSES	NUMBER	RATE
1 Bronchitis	1116	10.66
2 Influenza	740	7.07
3 Gastro Enteritis	417	3.96
4 Dysebtery all forms	407	3.89
5 Malaria	349	3.33
6 Diarrhea	282	2.69
7 Pneumonia all forms	193	1.84
8 P.T.B.	167	1.59
9 Measles	83	0.79
10 Chiken pox	16	0.15

MORTALITY (Per 1000 popul)

1977

1 Pneumonia all kinds	51	0.49
2 Senility	40	0.38
3 P.T.B.	38	0.36
4 Gastro Entiritis	17	0.16
5 Beri-beri	14	0.13
6 Permaturity	14	0.13
7 Accident	13	0.12
8 Shock & Hemorrhage	13	0.12
9 Foetal Death	11	0.11

INFANT MORTALITY (Per 1000 LIVE BIRTH)

1977

1 Prematurity	14	8.84
2 Pneumonia all kinds	12	7.61
3 Unknown	12	7.61
4 Foetal	11	6.98
5 Infantile Beri-beri	10	6.34
6 Tetanus Neonaturum	4	2.54
7 Malnutrition	3	1.90
8 Meningitis	2	1.26
9 Bronchitis	2	1.26
10 Gastro Enteritis	2	1.26

(ii) 病気別死亡率

病気別死亡率には肺炎が第1位となり、第2位全結核、第3位心臓病となっている。感染系(A型)疾患による死亡率は全死亡率の42%(1974)となっており、やはり圧倒的に伝染病が占めている。肺炎はわずかに減少しており(0.8%)全結核は逆に増加(0.2%)している。心臓病は著実な増加(2.4%)を示し、胃腸炎は絶対数は増加していない、比率では減少(1.3%)、栄養失調は減少(0.2%)、循環器系障害は増加(0.2%)悪性腫瘍は著しく増加(0.7%)、事故は減少(1.2%)、気管支炎も減少(0.8%)、破傷風は増加(0.3%)を示している。

上位10位の疾病構造をみると、1975年では

感染系(A型) (Communicable)	33.6%
成人病系(B型) (Degenerative)	18.5%
出産系(C型) (Maternal)	0%
外因系(D型) ()	3.0%
その他(E型)	4.1%

となっており成人病の進出を見逃してはならない。

これは今後、伝染病対策が効果を取めた後にやってくる目標となるであろうが、現時点に於てすでに長期的展望に立った施策が始められねばならず、医療施設計画に於ても当然その事を将来計画として取り込める配慮がなされていなければならない。

MORTALITY: TEN(10) LEADING CAUSES, NUMBER AND CRUDE
 DEATH RATES: CY 1970-74 AND 1975
 (Crude death rate per 10000 population)

Cause	5-Year Average 1970-74			1975 ¹		
	Number	Rate	Per Cent of Total Deaths	Number	Rate	Per Cent of Total Deaths
	Pneumonia	45,380	116.0	16.8	43,099	101.4
Tuberculosis all Forms	28,924	74.0	10.7	29,265	68.8	10.9
Disease of the Heart	17,559	44.9	6.5	23,908	56.2	8.9
Gastro-Enteritis & Colitis	10,116	38.7	5.6	16,693	27.5	4.3
Avitaminosis & other Nutritional Deficiency	11,682	29.9	4.3	10,967	25.8	4.1
Diseases of the Vascular System	13,105	33.5	4.8	13,489	31.7	5.0
Malignant Neoplasms	10,638	27.2	3.9	12,422	29.2	4.6
Accidents	11,375	29.1	4.2	8,094	15.0	3.0
Bronchitis, Emphysema & Asthma	8,712	22.3	3.2	6,422	15.1	2.4
Tetanus	3,590	9.2	1.3	4,210	9.9	1.6

¹Medium assumption used
 Source: Disease Intelligence Center, Department of Health.